

3 パートナー間の暴力やセクシュアル・ハラスメントについて

1. ドメスティック・バイオレンスの経験

問6 過去1年間に、「夫婦・恋人など親しい間柄にあるパートナー間の暴力」（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたことがありますか。（あてはまるもの全てに○）

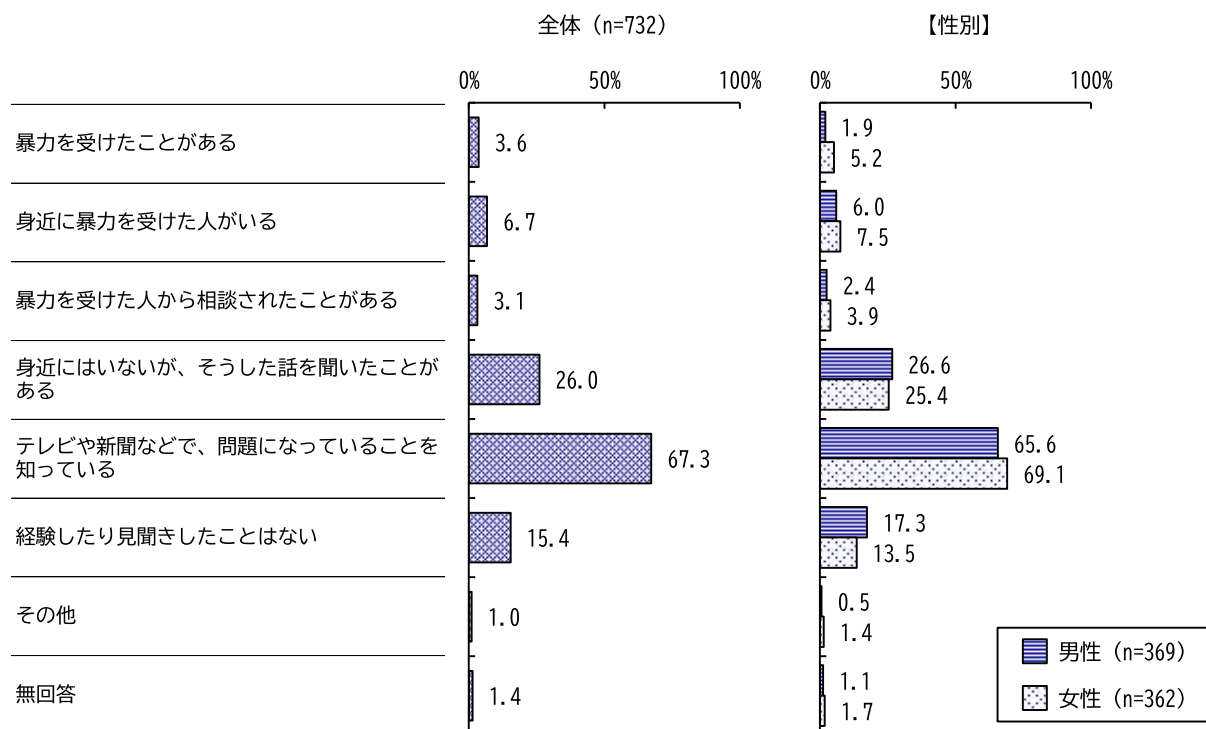
過去1年間に男性の1.9%、女性の5.2%が「暴力を受けたことがある」。

過去1年間に、ドメスティック・バイオレンスについて、経験したり見聞きしたことに ついてたずねたところ、「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」が67.3%と最も高く、次に「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が26.0%となっています。また、「暴力を受けたことがある」は3.6%、「経験したり見聞きしたりしたことはない」は15.4%となっています。

性別でみると、「暴力を受けたことがある」は男性が1.9%、女性が5.2%となっています。

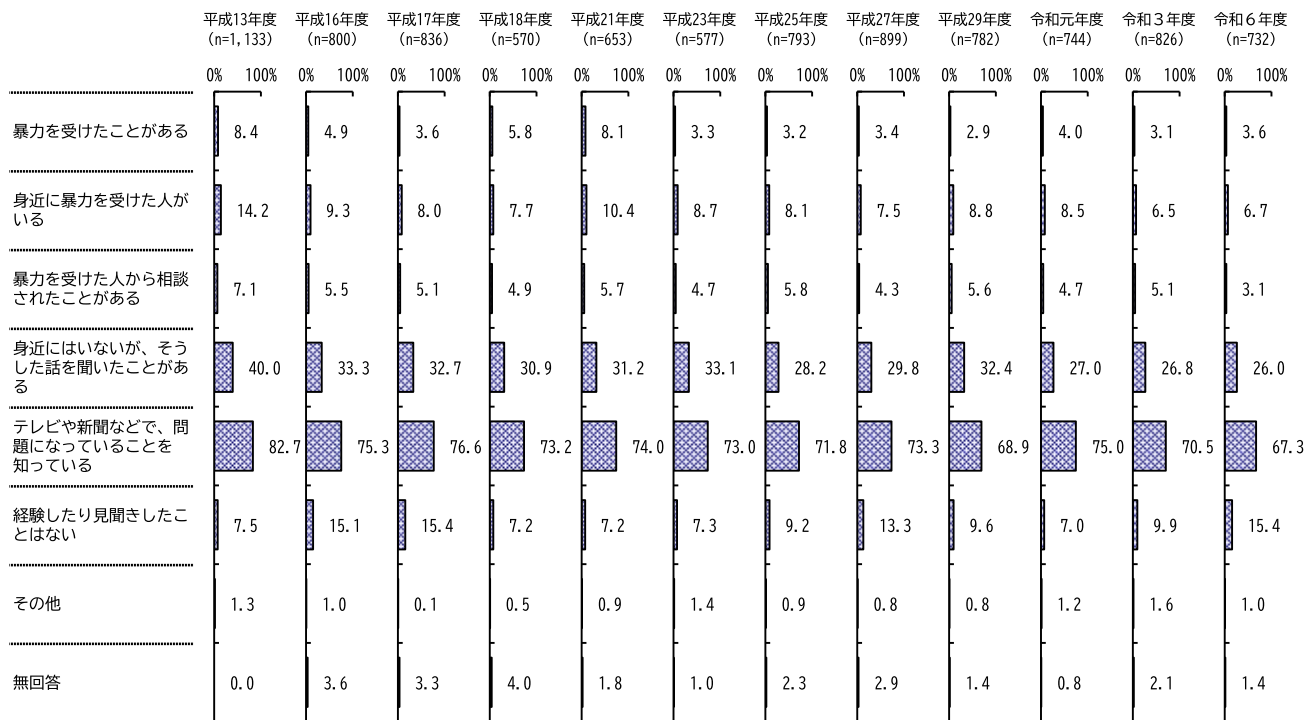
経年比較でみると、「暴力を受けた人から相談されたことがある」の割合が過去最低となっています。また、「経験したり見聞きしたりしたことはない」が前回調査よりやや高くなっています。

【全体・性別】



3 パートナー間の暴力やセクシュアル・ハラスメントについて

【経年比較】



2. ドメスティック・バイオレンスだと思う行為

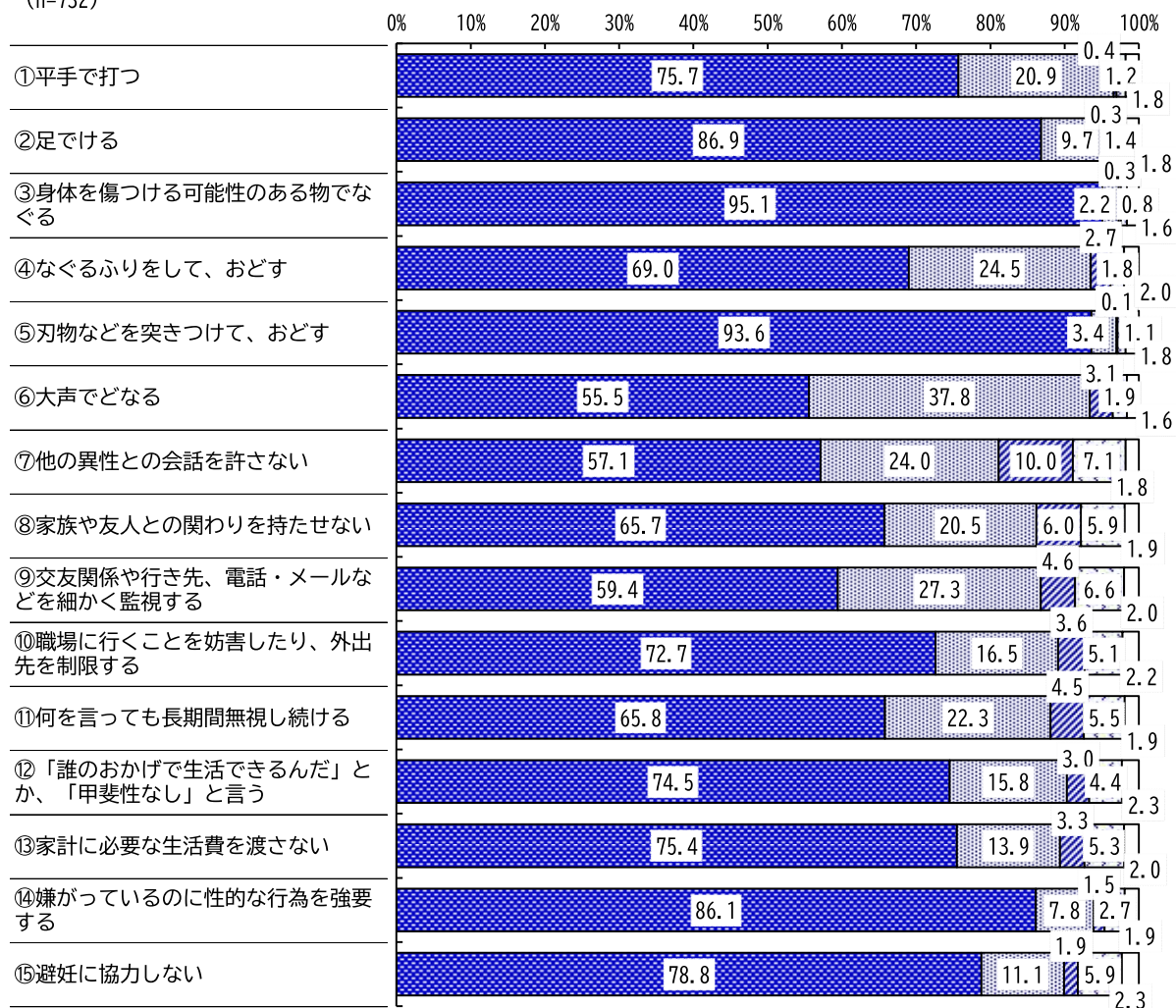
問6-2 あなたは、次のようなことが夫婦・恋人など親しい間柄にあるパートナー間で行われた場合、それを暴力（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。①～⑮のそれぞれについて、「1」から「4」のうちあなたの考えに近い番号をお選びください。なお、ここでの「夫婦」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含まれます。（それぞれ1つに○）

「身体を傷つける可能性のある物でなぐる」「刃物などを突きつけて、おどす」は
9割以上が暴力だと思う行為。

以下の15の行為について夫婦・恋人など親しい間柄にあるパートナー間で行われた場合、それを暴力（ドメスティック・バイオレンス）だと思うかをたずねたところ、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は、「③身体を傷つける可能性のある物でなぐる」、「⑤刃物などを突きつけて、おどす」が9割以上、「②足でける」、「⑭嫌がっているのに性的な行為を強要する」が8割以上となっています。

【全体】

(n=732)



- どんな場合でも暴力にあたると思う
- 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
- 暴力にあたるとは思わない
- その他
- 無回答

①平手で打つ

<平手で打つ>は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が75.7%。

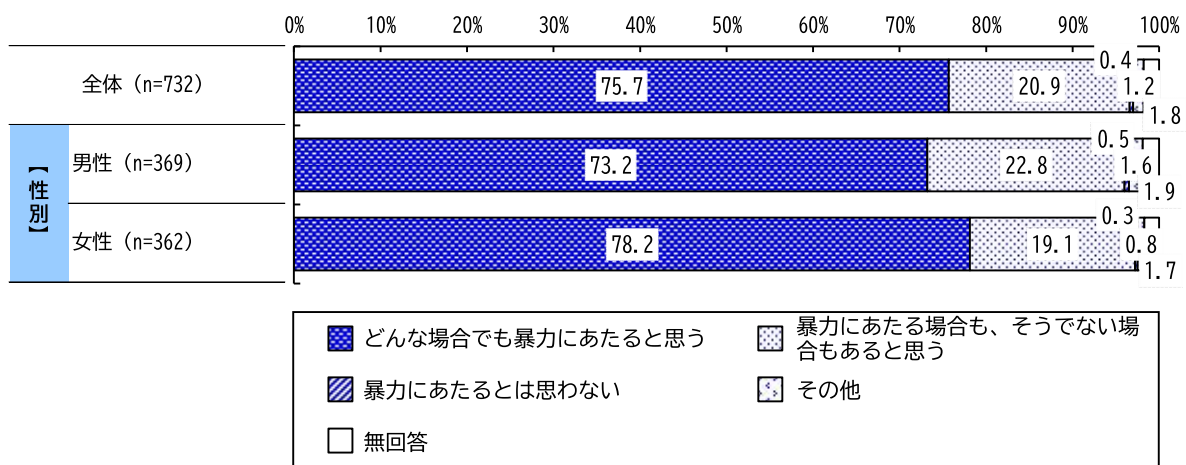
【①平手で打つ】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が75.7%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が20.9%、「暴力にあたるとは思わない」が0.4%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は73.2%、女性は78.2%となっています。

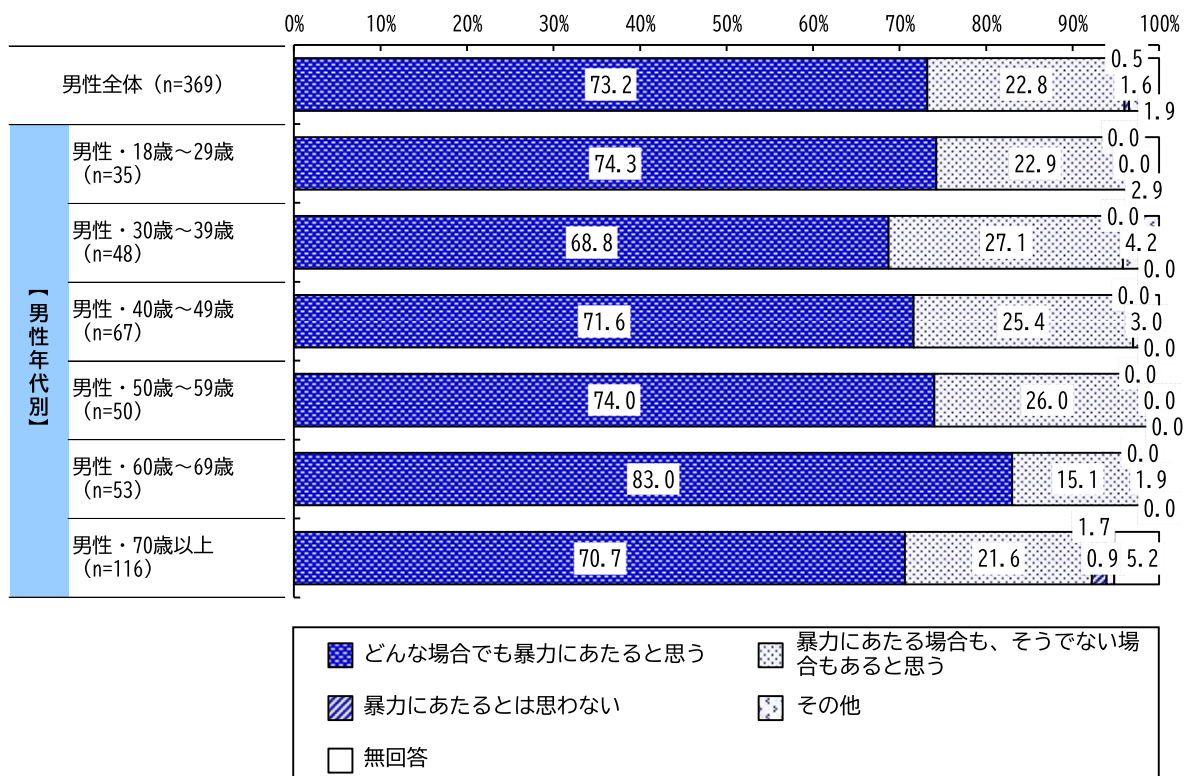
性・年代別でみると、男性の60歳～69歳、女性の40歳～49歳、60～69歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が8割以上となっています。

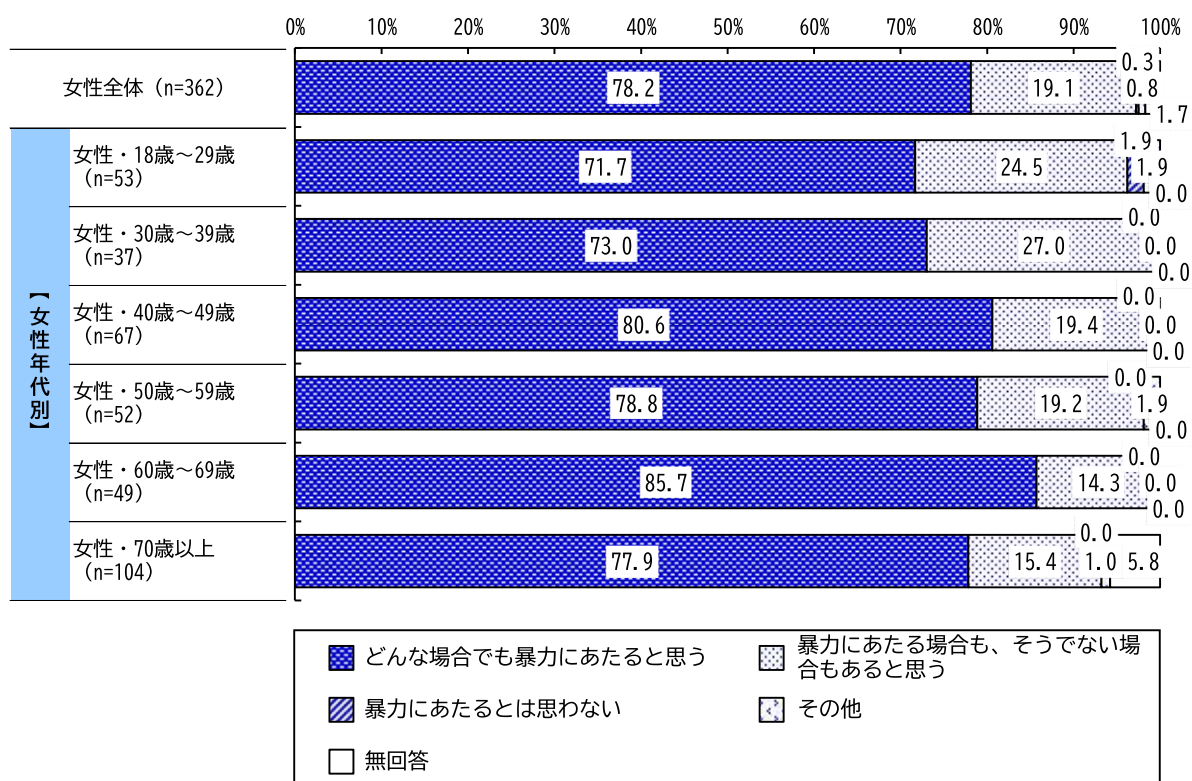
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

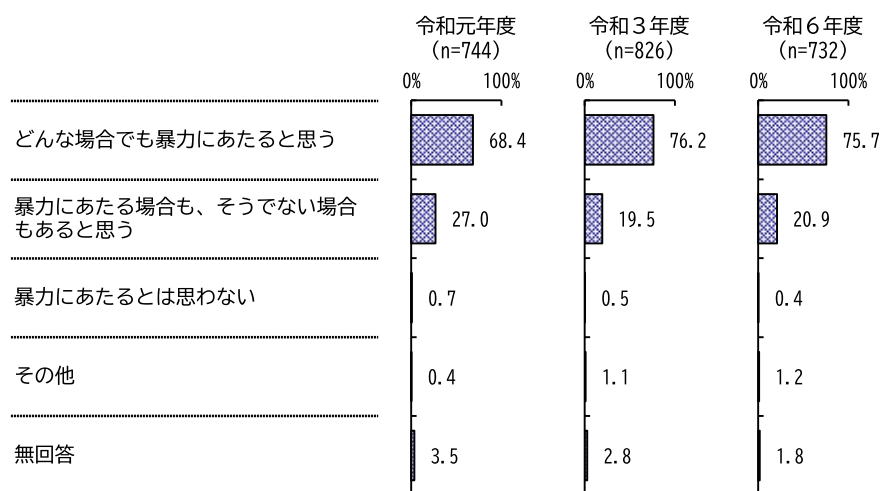


【性・年代別】





【経年比較】



②足でける

<足でける>は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が86.9%。

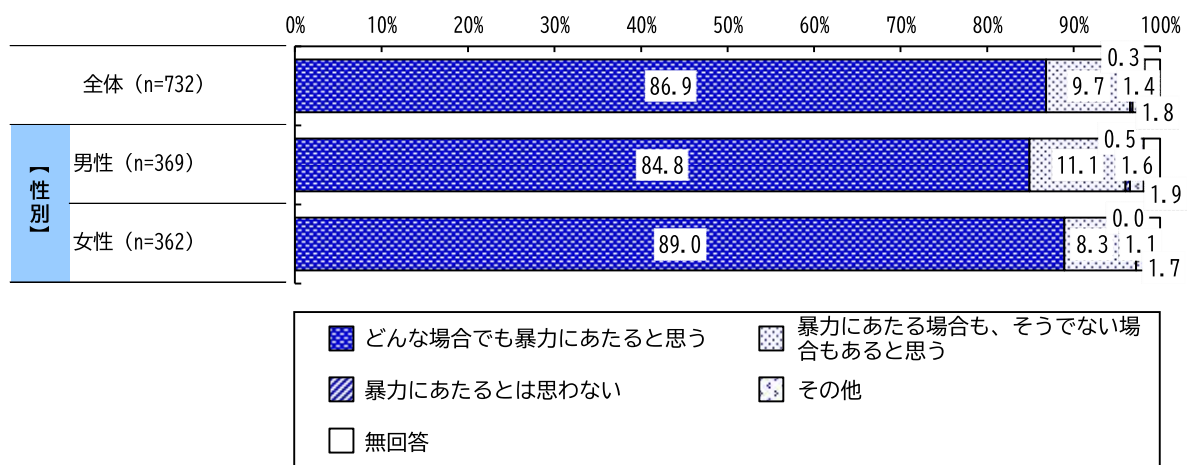
【②足でける】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が86.9%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が9.7%、「暴力にあたるとは思わない」が0.3%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は84.8%、女性は89.0%となっています。

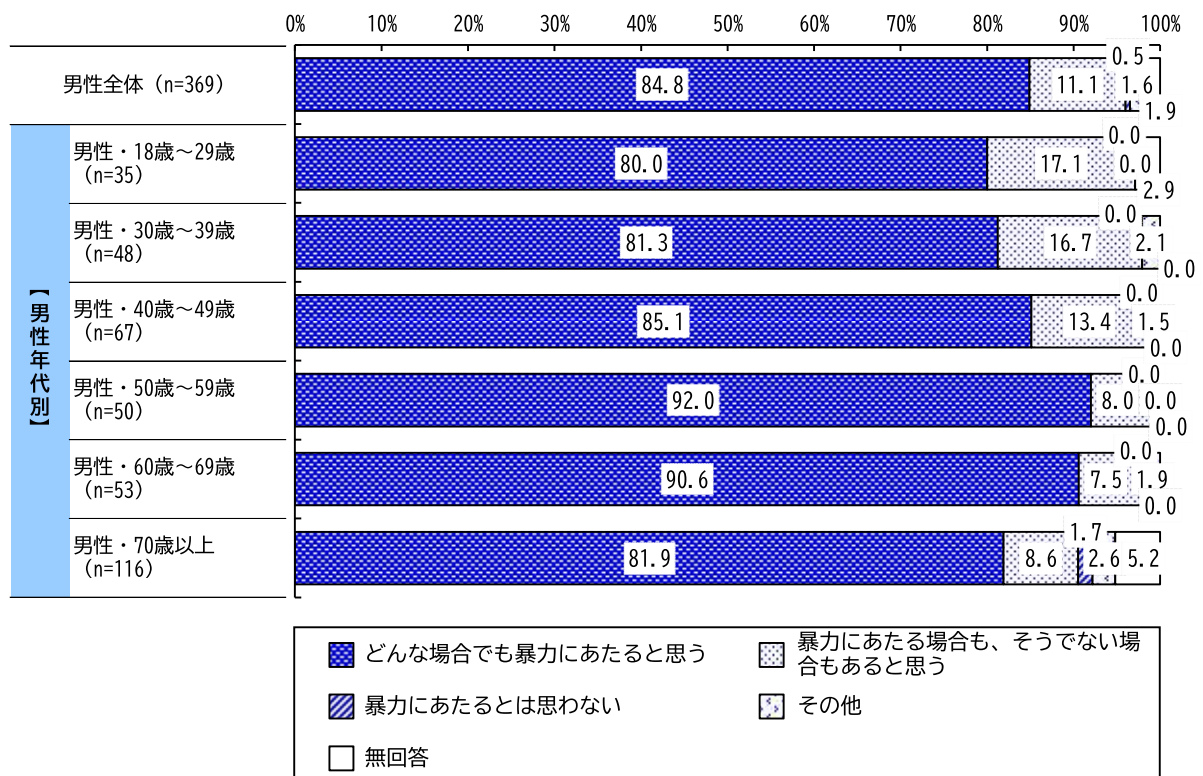
性・年代別でみると、すべての性・年代で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が8割以上となっています。

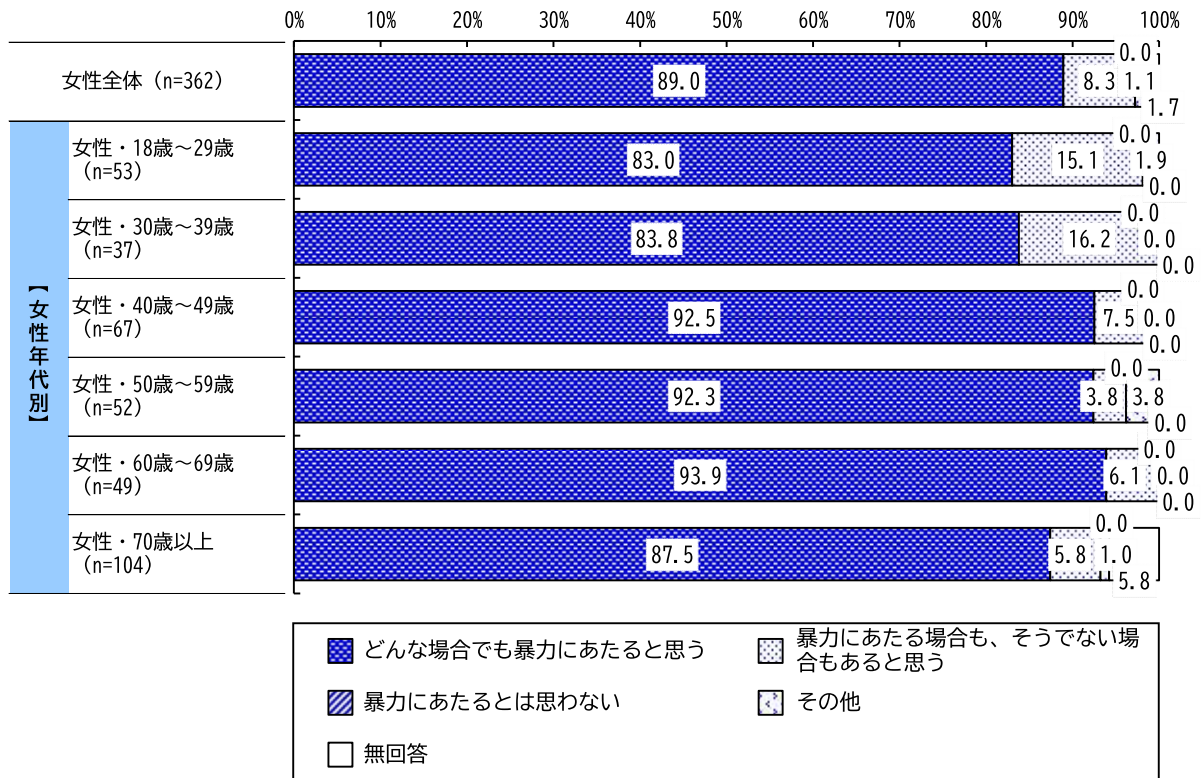
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

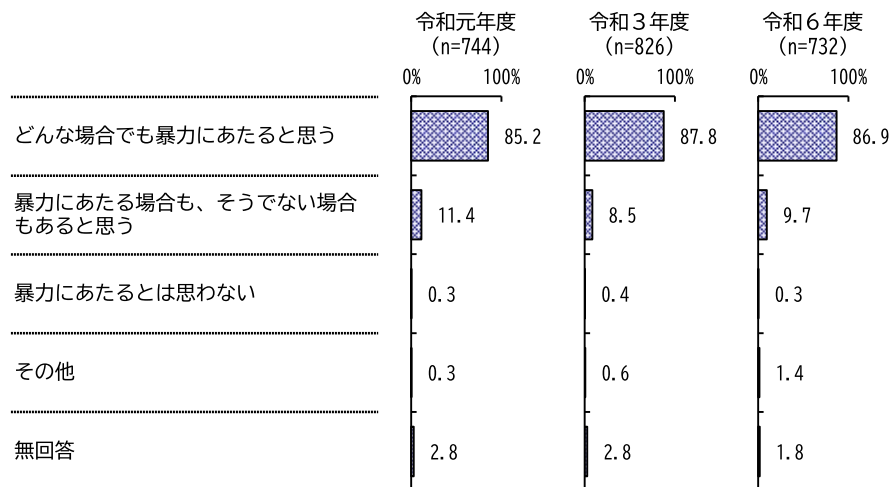


【性・年代別】





【経年比較】



③身体を傷つける可能性のある物でなくる

＜身体を傷つける可能性のある物でなくる＞は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が95.1%。

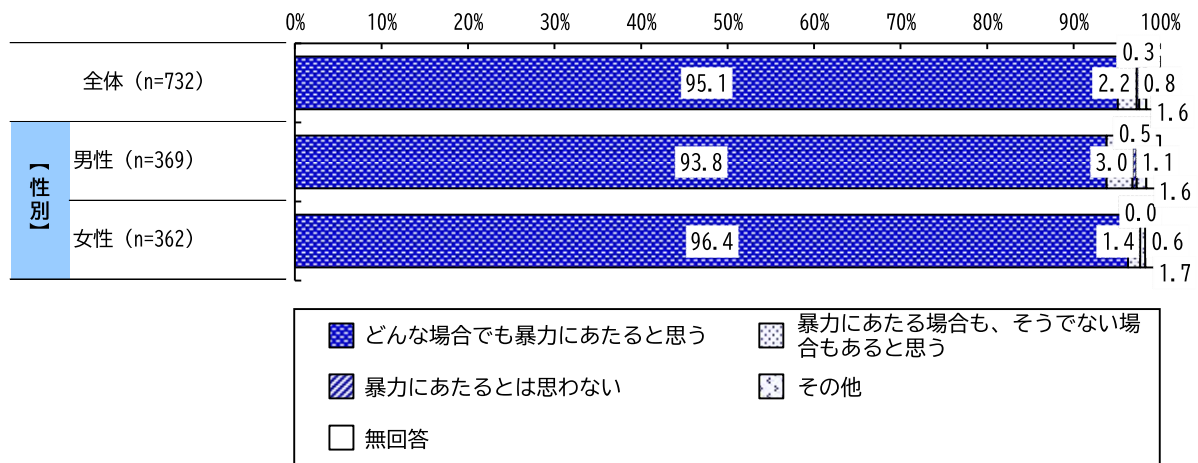
【③身体を傷つける可能性のある物でなくる】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が95.1%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が2.2%、「暴力にあたるとは思わない」が0.3%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は93.8%、女性は96.4%となっています。

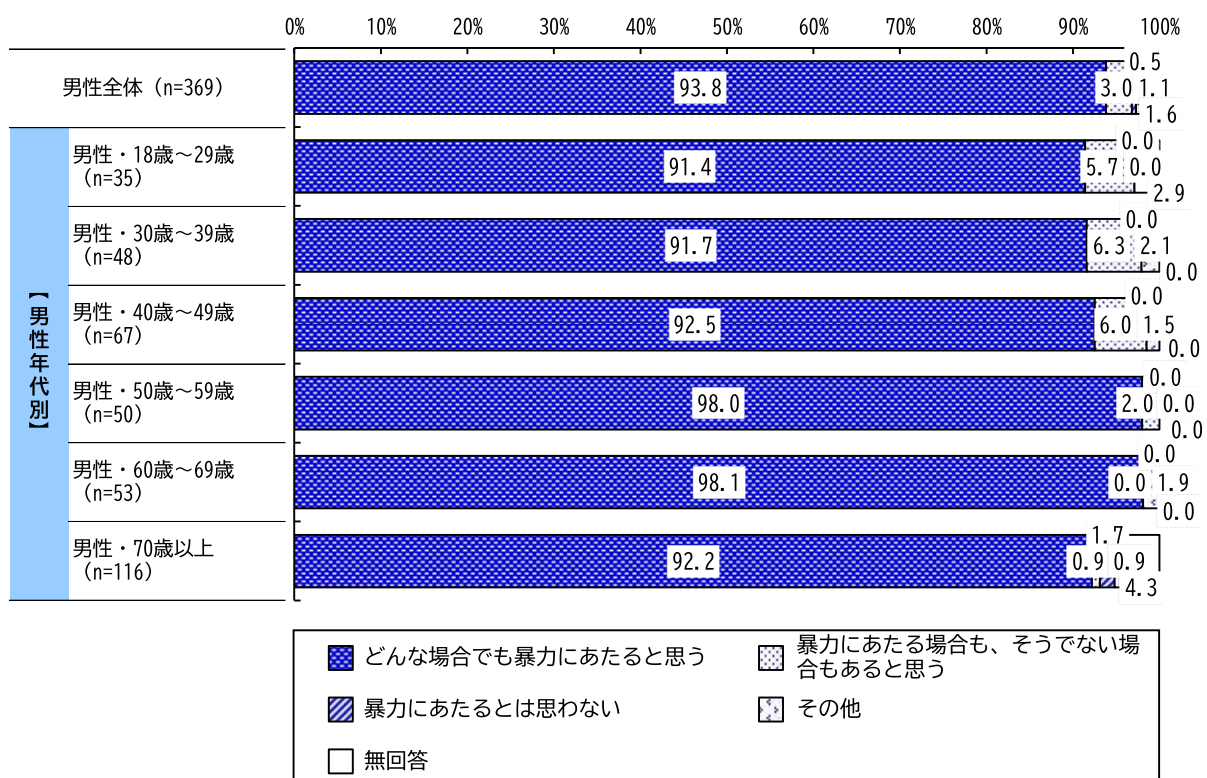
性・年代別でみると、すべての性・年代で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が9割以上となっています。

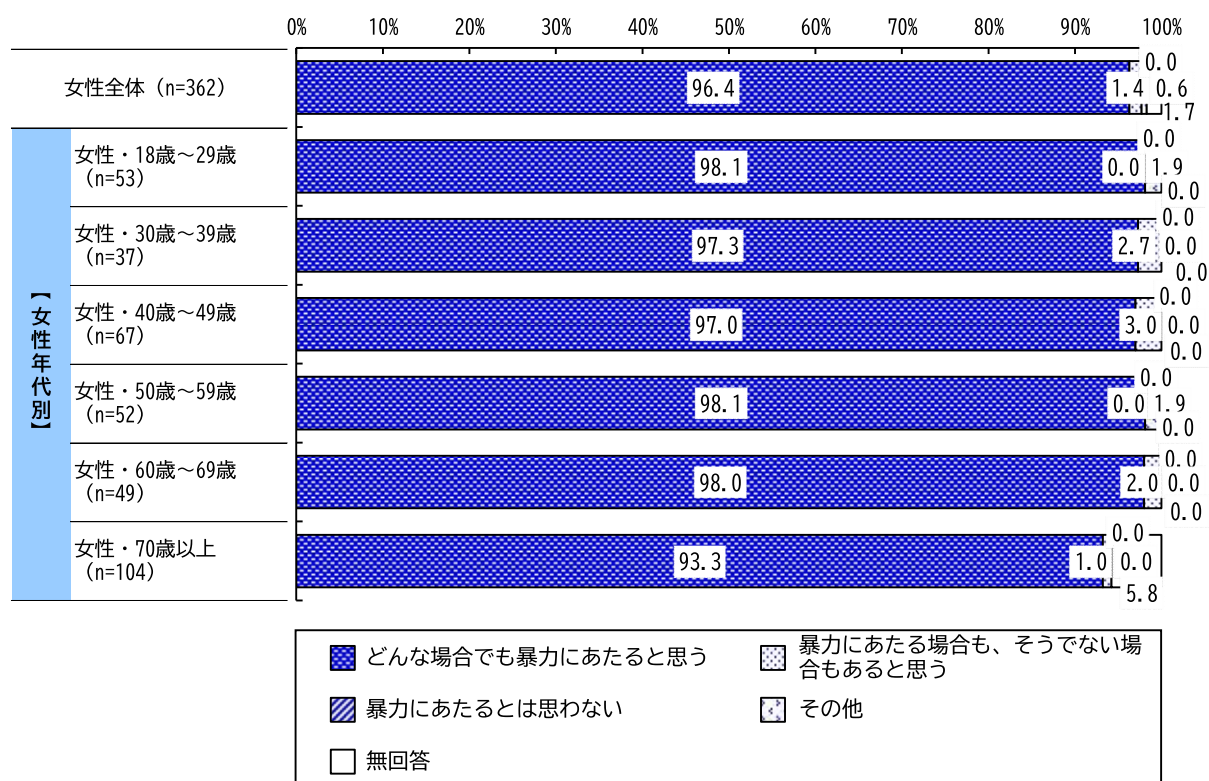
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

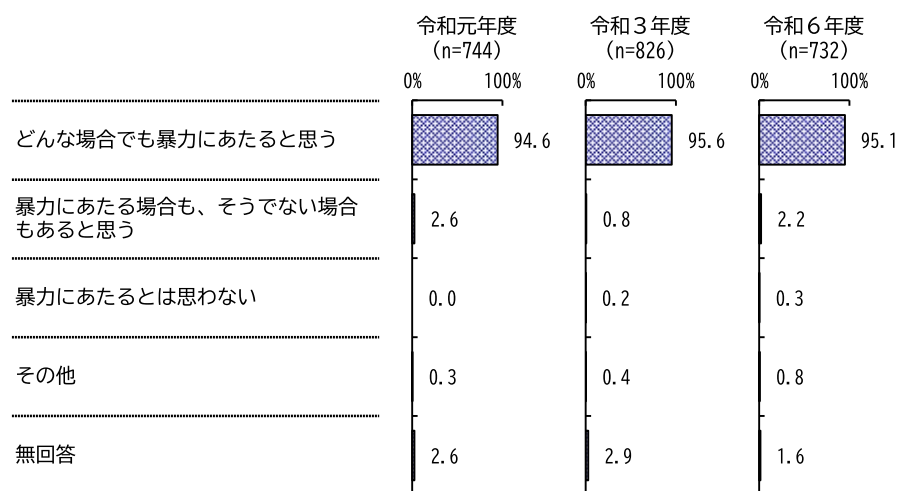


【性・年代別】





【経年比較】



④なぐるふりをして、おどす

＜なぐるふりをして、おどす＞は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が 69.0%、
「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が 24.5%。

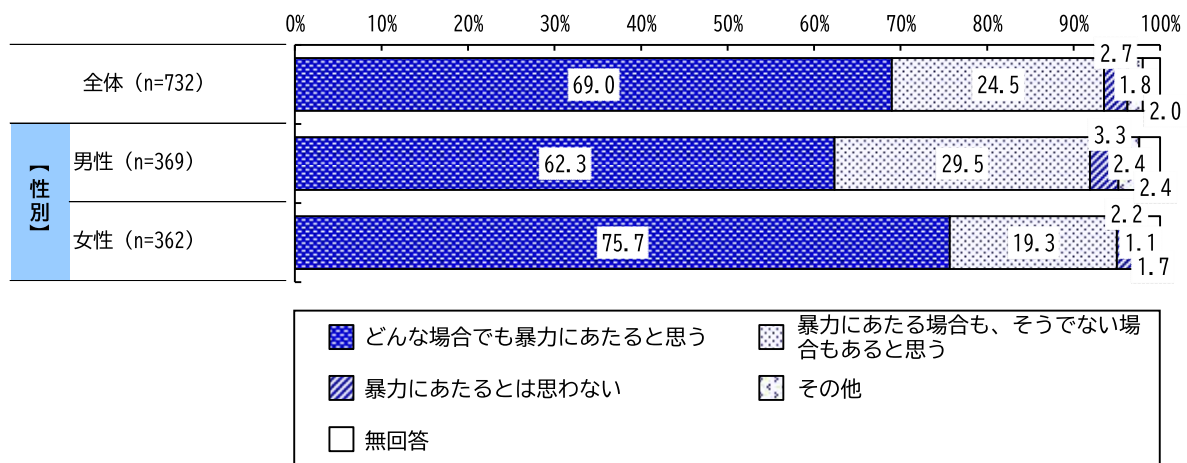
【④なぐるふりをして、おどす】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が 69.0%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が 24.5%、「暴力にあたるとは思わない」が 2.7%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は 62.3%、女性は 75.7%となっており、男女間で差がみられます。

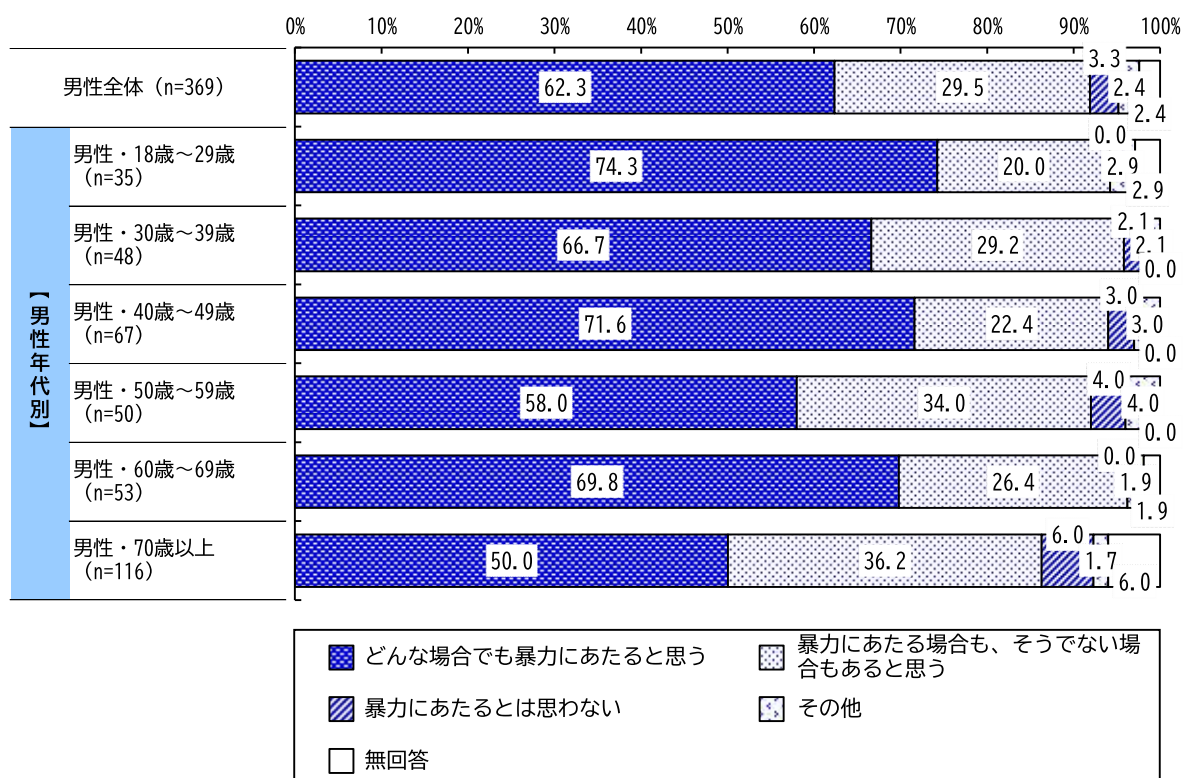
性・年代別でみると、50 歳～59 歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が、男性が 58.0%、女性が 84.6%と 26.6 ポイントの差があります。

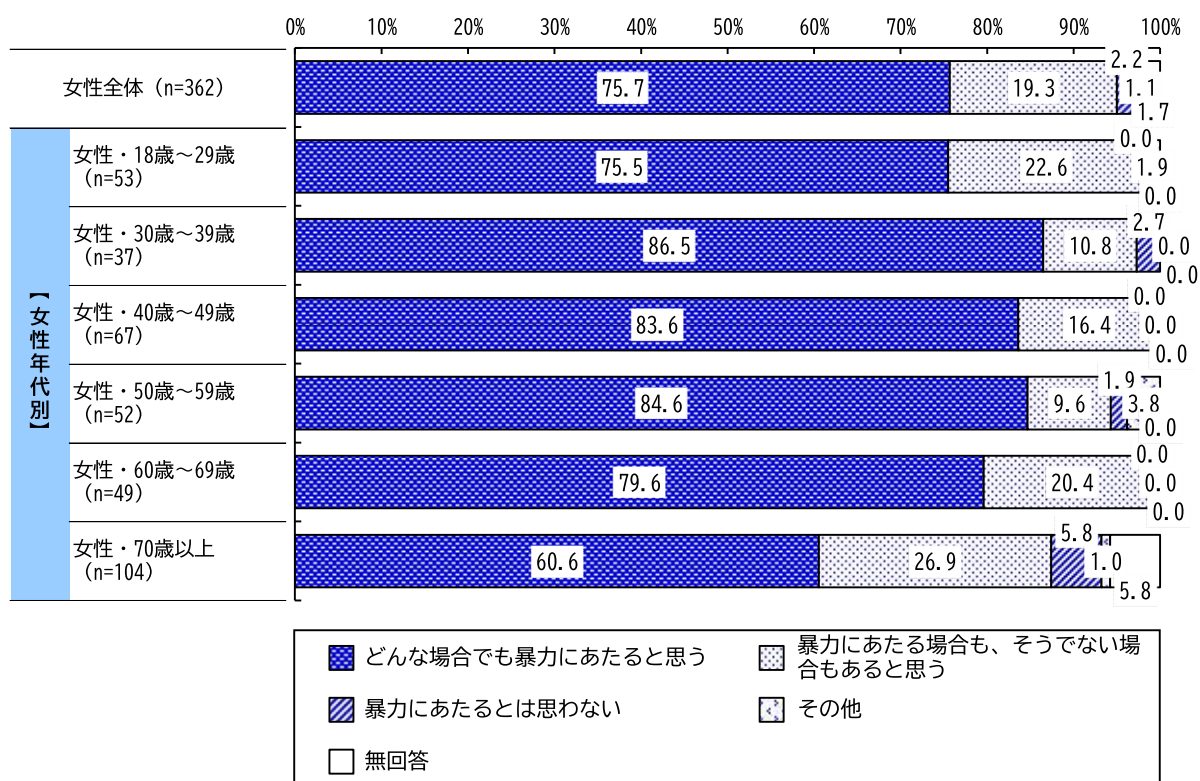
経年比較でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が増加傾向にあります。

【全体・性別】

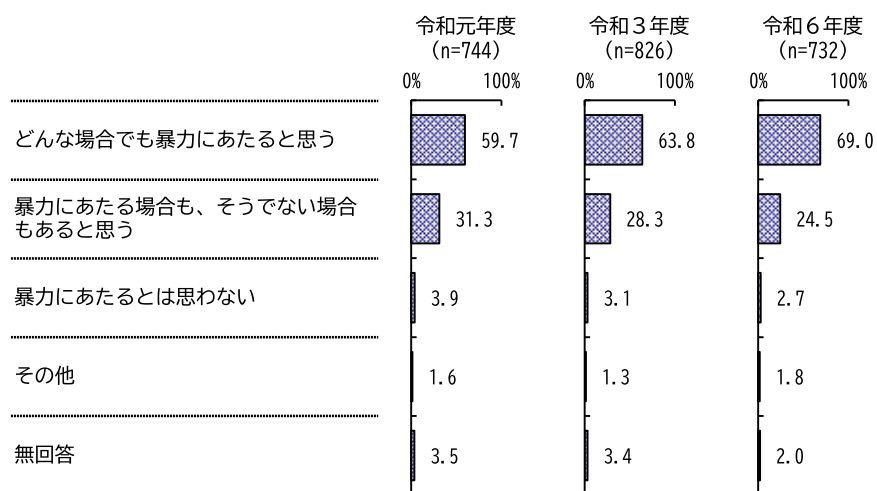


【性・年代別】





【経年比較】



⑤刃物などを突きつけて、おどす

<刃物などを突きつけて、おどす>は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が93.6%。

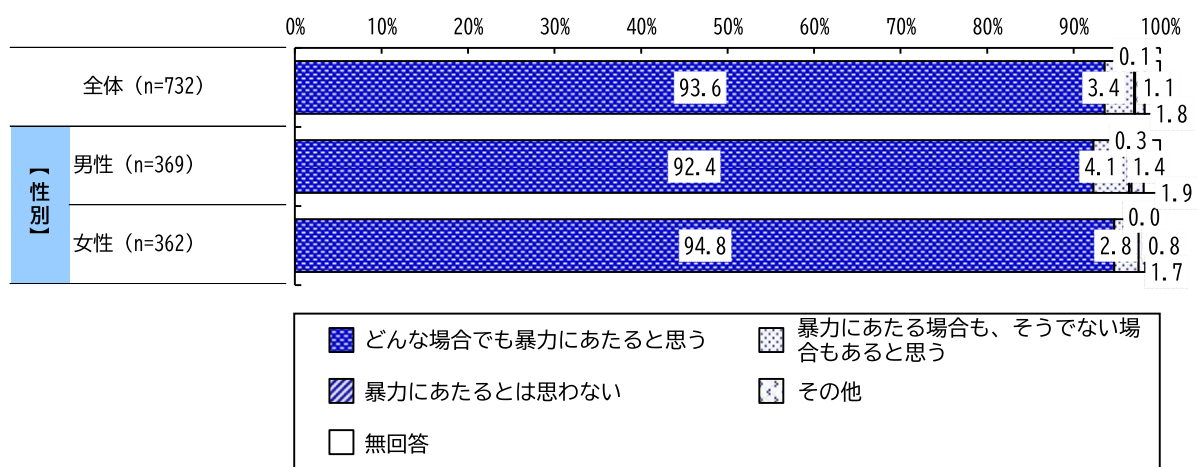
【⑤刃物などを突きつけて、おどす】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が93.6%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が3.4%、「暴力にあたるとは思わない」が0.1%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は92.4%、女性は94.8%となっています。

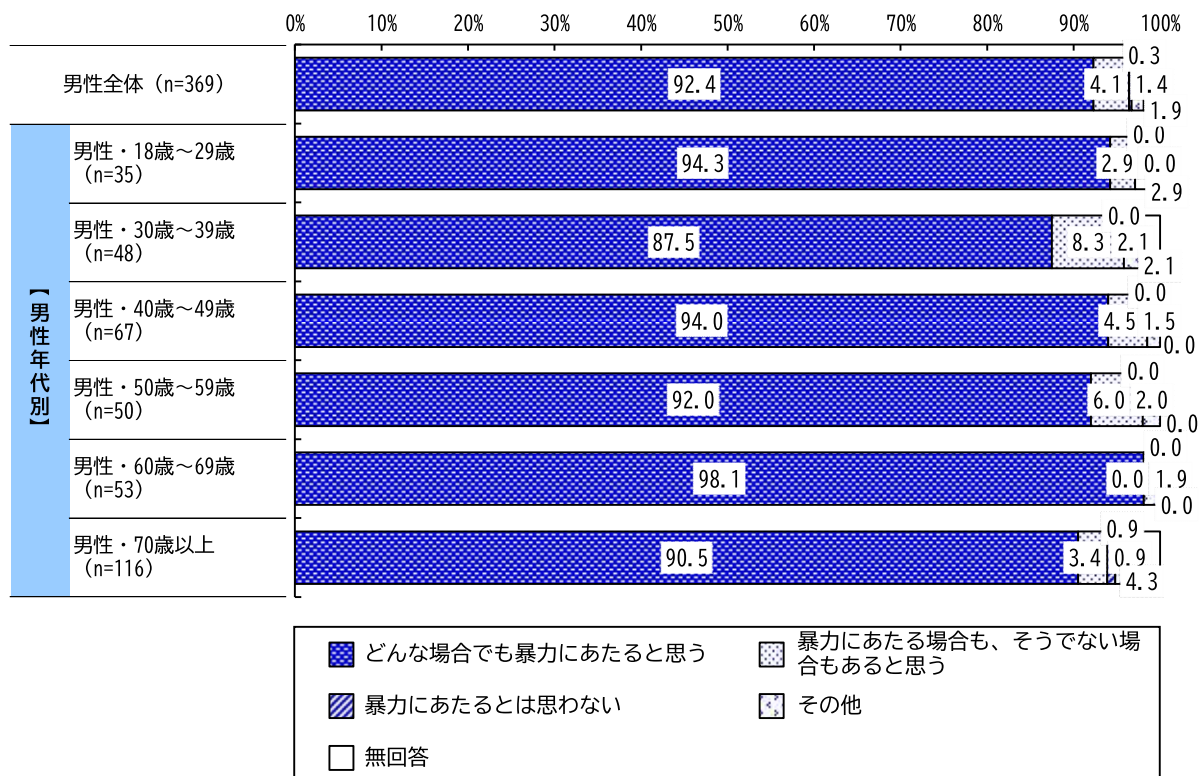
性・年代別でみると、男性の30歳～39歳以外の性・年代で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が9割以上となっています。また、30歳～39歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が、男性が87.5%、女性が100.0%と12.5ポイントの差があります。

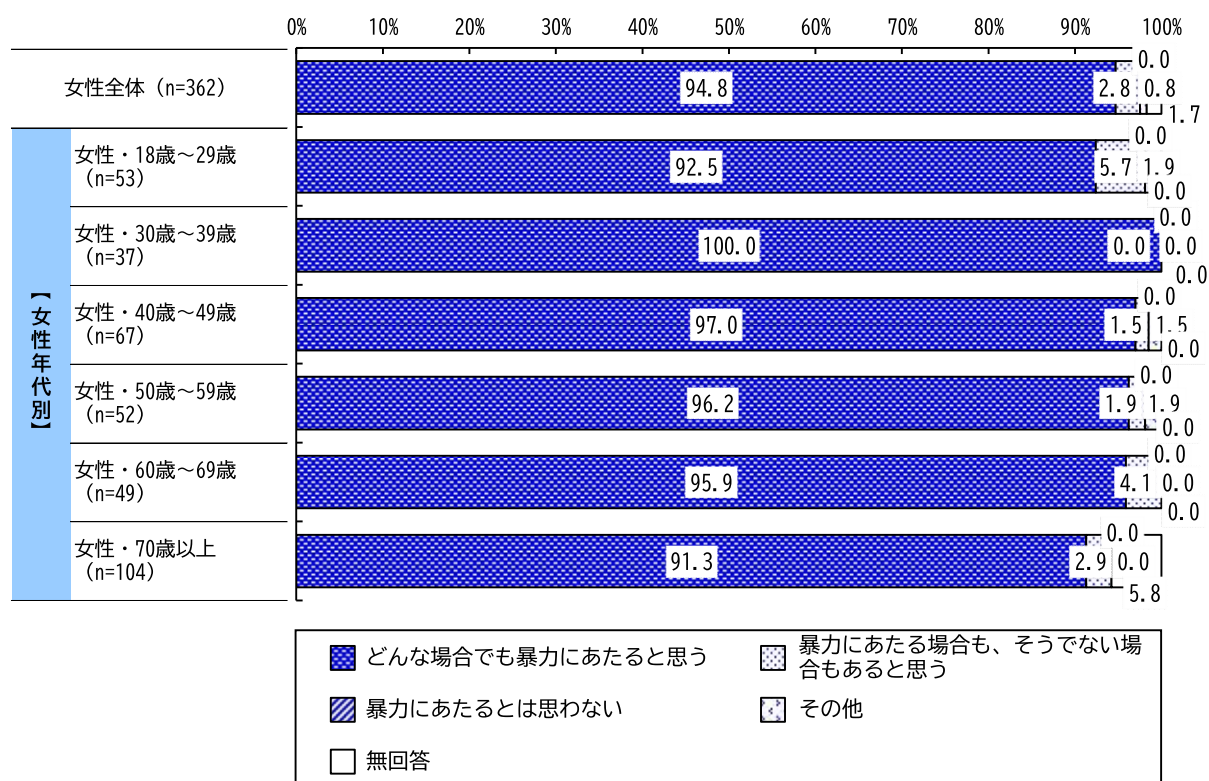
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

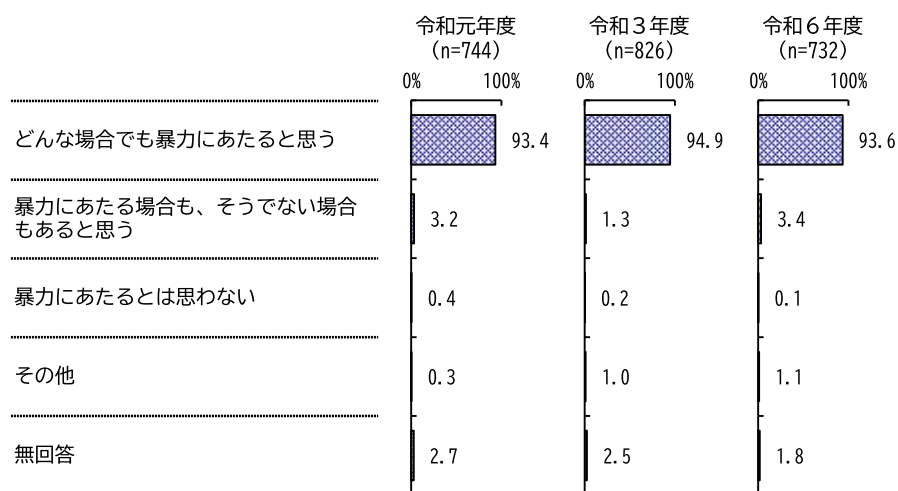


【性・年代別】





【経年比較】



⑥大声でどなる

<大声でどなる>は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が 55.5%、
「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が 37.8%。

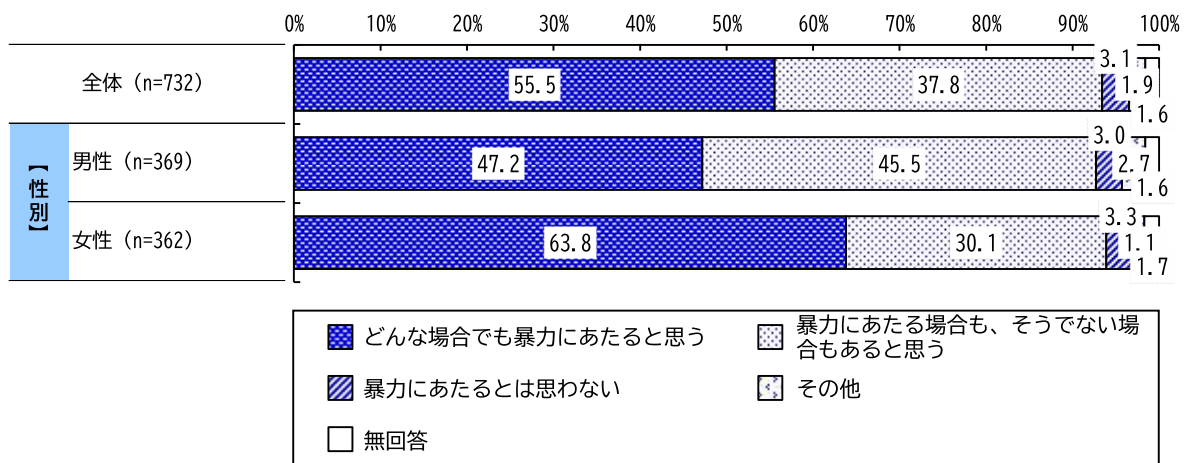
【⑥大声でどなる】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が 55.5%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が 37.8%、「暴力にあたるとは思わない」が 3.1%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は 47.2%、女性は 63.8%となっており、男女間で差がみられます。

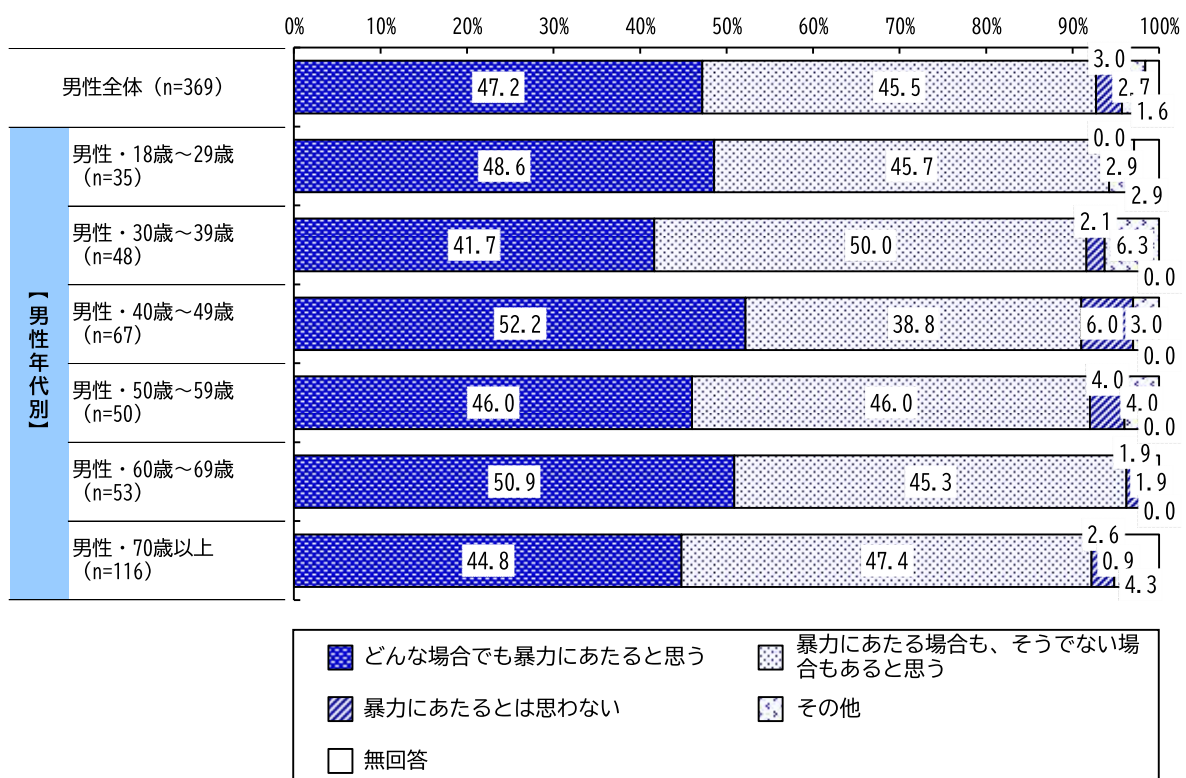
性・年代別でみると、30 歳～39 歳、40 歳～49 歳、50 歳～59 歳、60 歳～69 歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が、男性と女性で 20 ポイント以上の差があります。

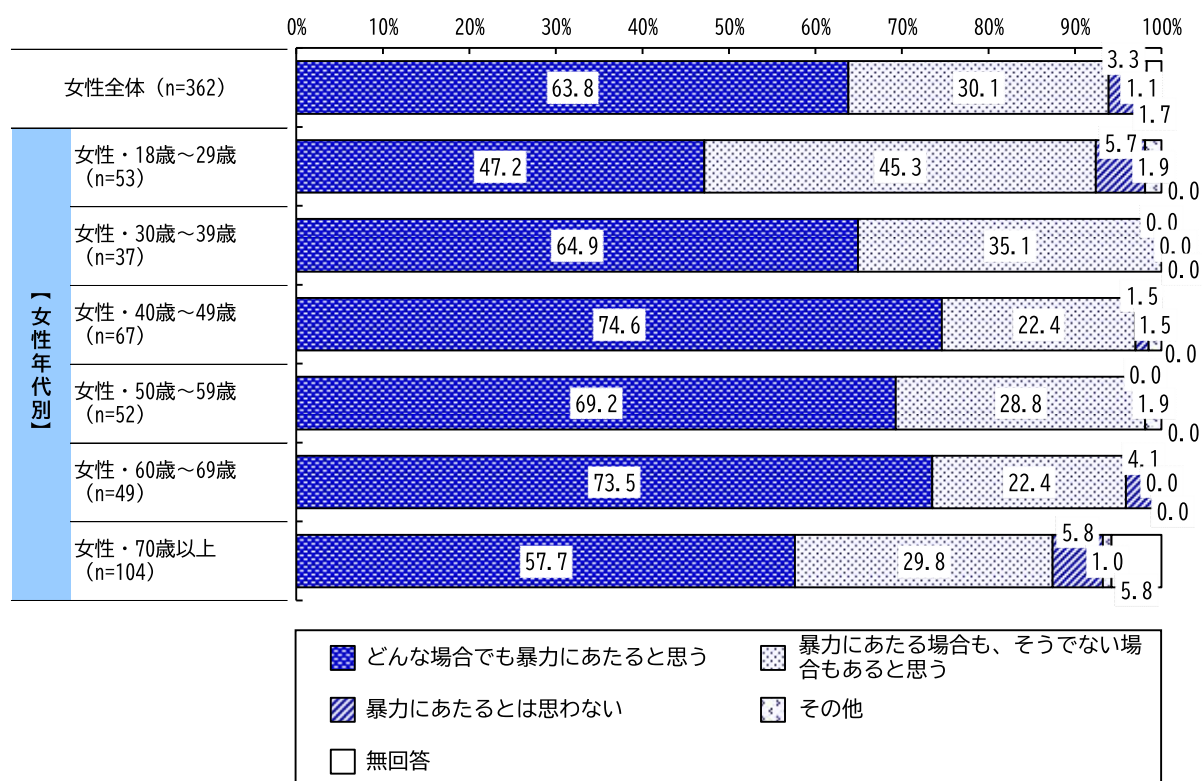
経年比較でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が増加傾向にあります。

【全体・性別】

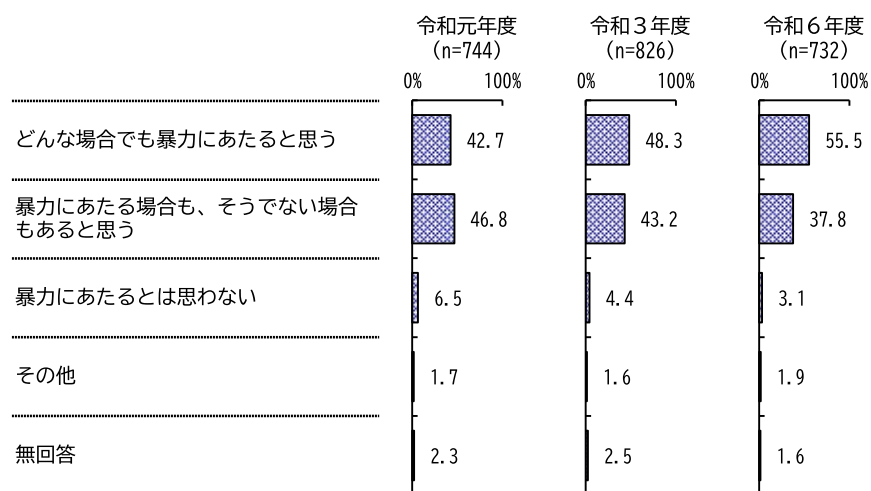


【性・年代別】





【経年比較】



⑦他の異性との会話を許さない

＜他の異性との会話を許さない＞は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が 57.1%、
「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が 24.0%。

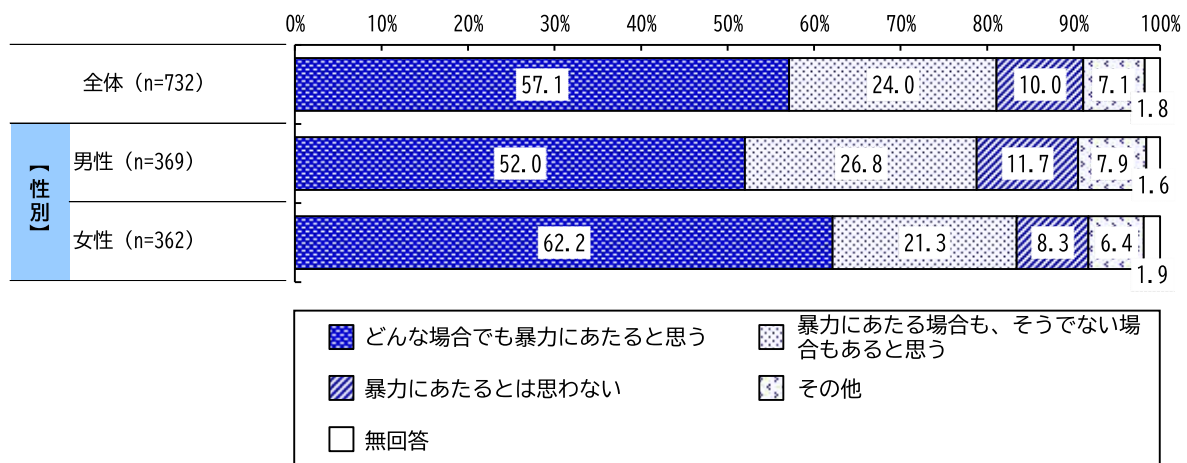
【⑦他の異性との会話を許さない】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が 57.1%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が 24.0%、「暴力にあたるとは思わない」が 10.0%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は 52.0%、女性は 62.2%となっており、男女間で差がみられます。

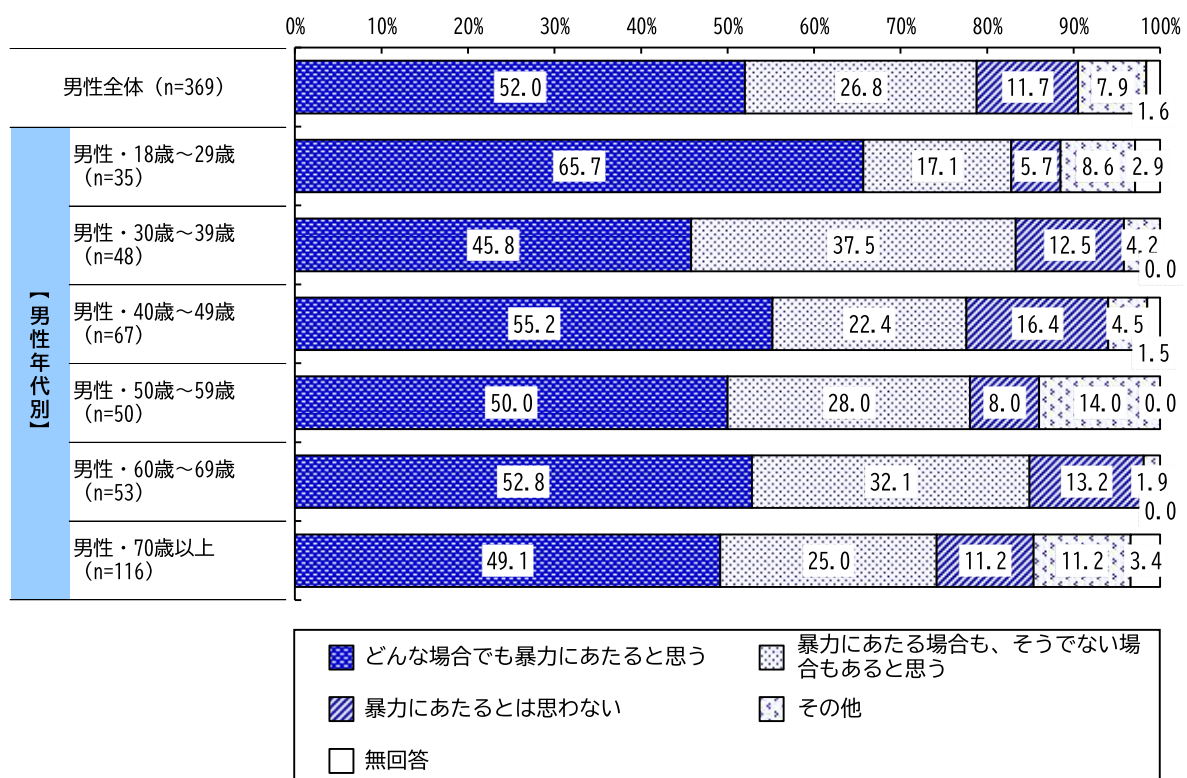
性・年代別でみると、また、40 歳～49 歳、50 歳～59 歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が、男性と女性で 20 ポイント以上の差があります。

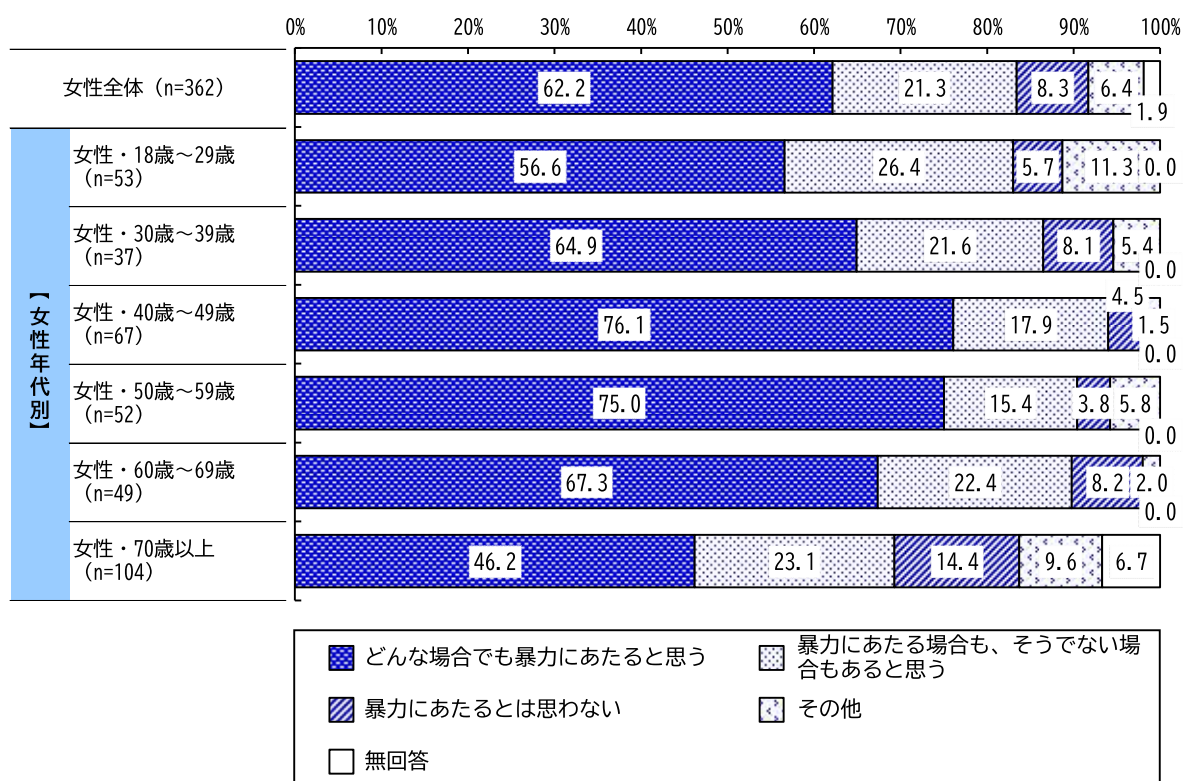
経年比較でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が増加傾向にあります。

【全体・性別】

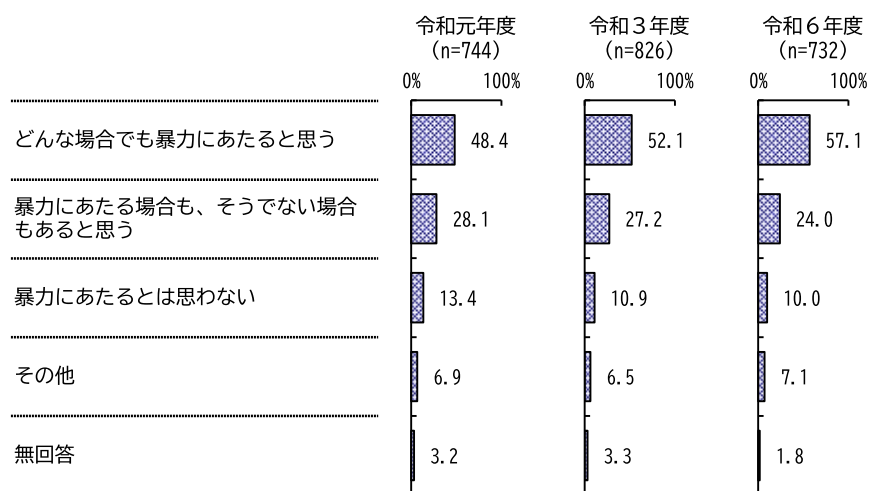


【性・年代別】





【経年比較】



⑧家族や友人との関わりを持たせない

＜家族や友人との関わりを持たせない＞は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が 65.7%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が 20.5%。

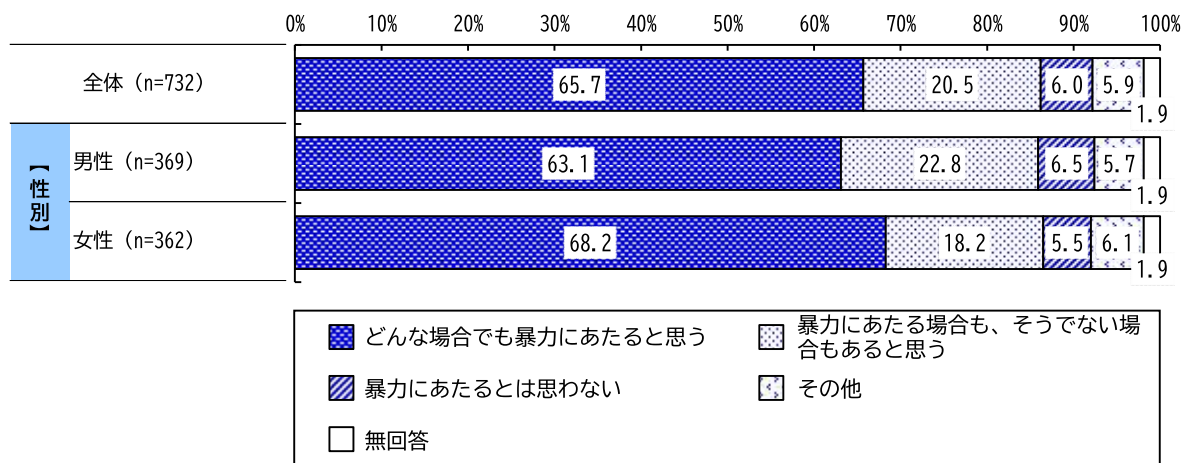
【⑧家族や友人との関わりを持たせない】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が 65.7%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が 20.5%、「暴力にあたるとは思わない」が 6.0%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は 63.1%、女性は 68.2%となっています。

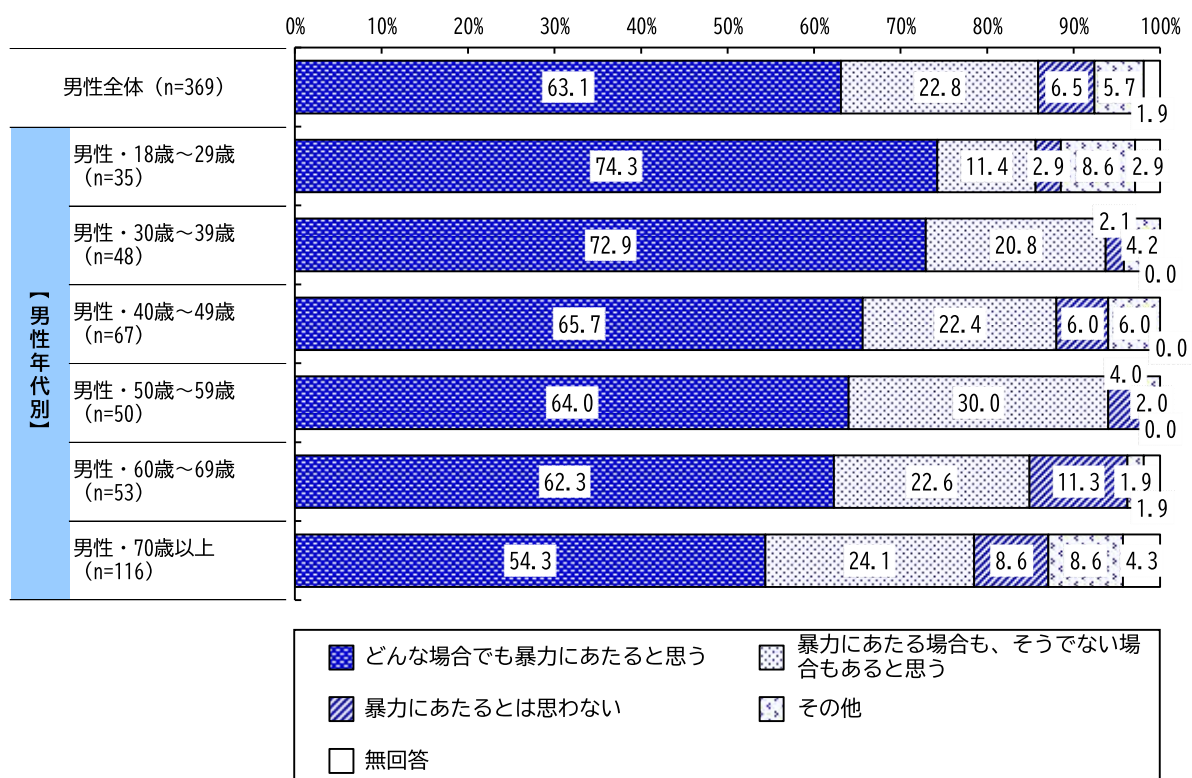
性・年代別でみると、男性、女性ともに 70 歳以上で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が他の年代より低くなっています。また、40 歳～49 歳、50 歳～59 歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が、男性と女性で 20 ポイント以上の差があります。

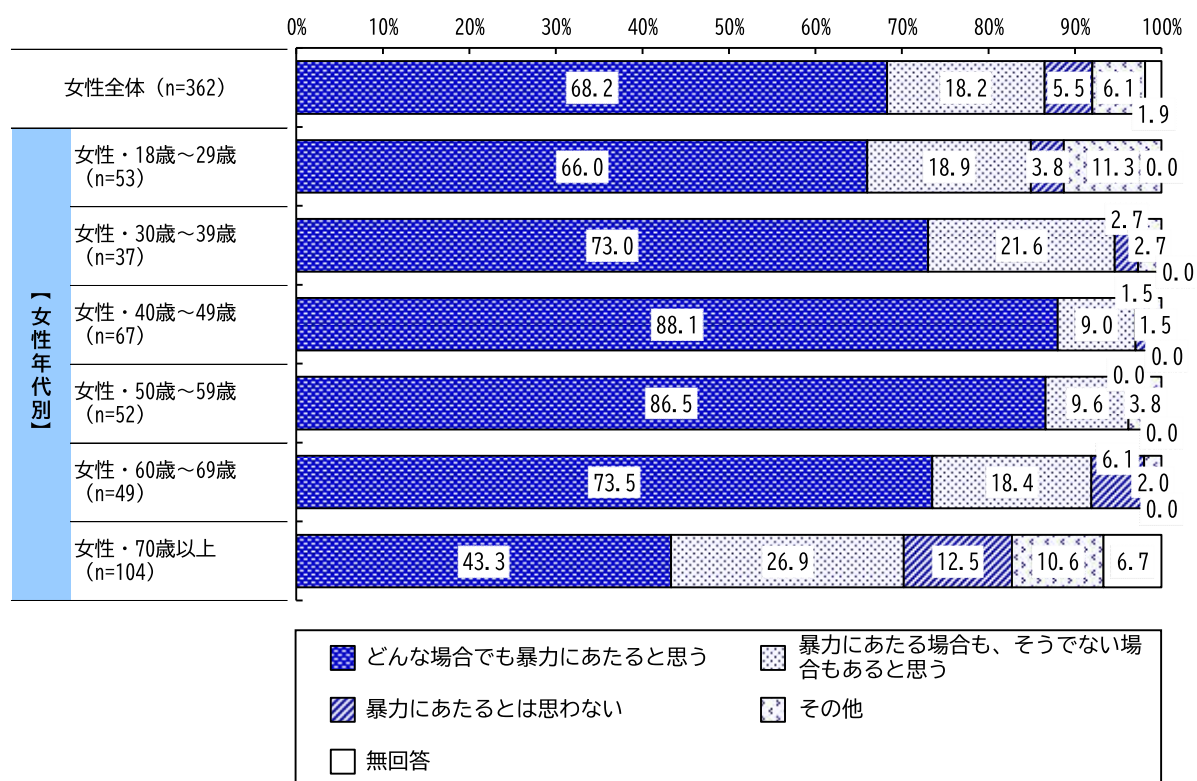
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

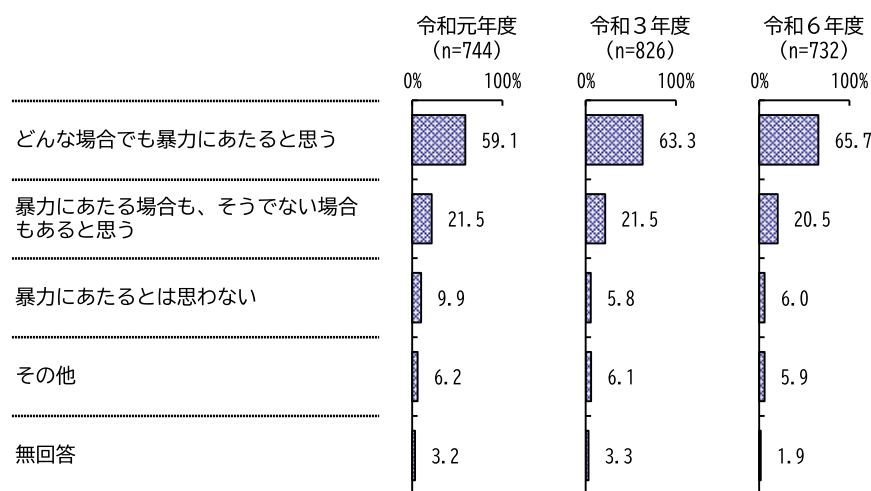


【性・年代別】





【経年比較】



⑨交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する

＜交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する＞は
「どんな場合でも暴力にあたると思う」が59.4%。

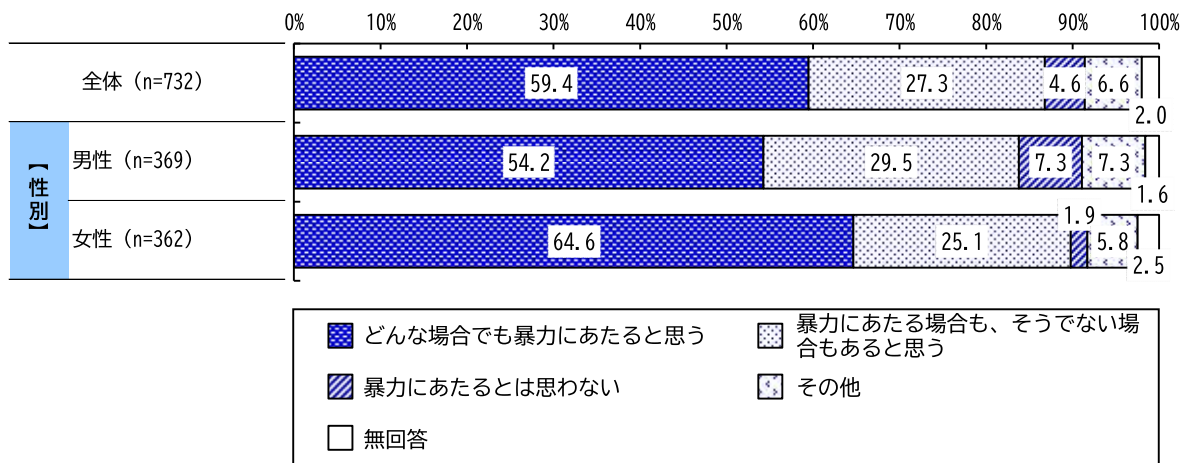
【⑨交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が59.4%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が27.3%、「暴力にあたるとは思わない」が4.6%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は54.2%、女性は64.6%となっており、男女間で差がみられます。

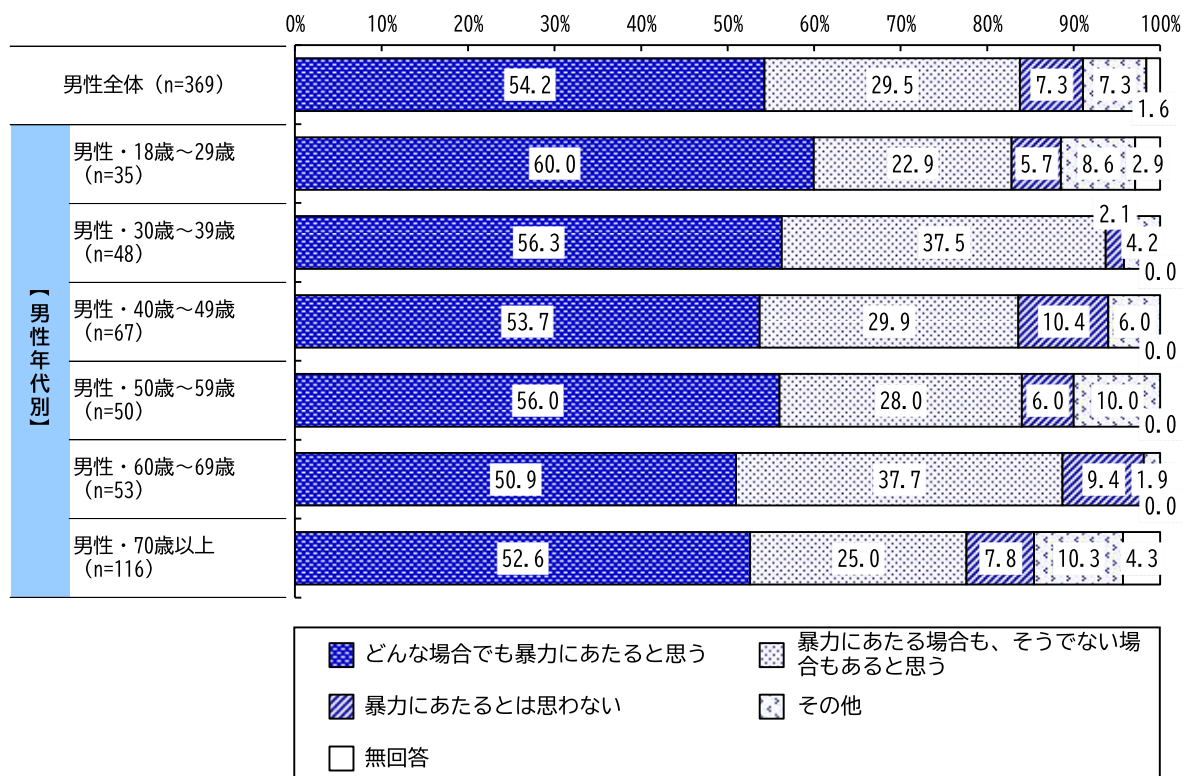
性・年代別でみると、40歳～49歳、50歳～59歳、60歳～69歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が、男性と女性で20ポイント以上の差があります。

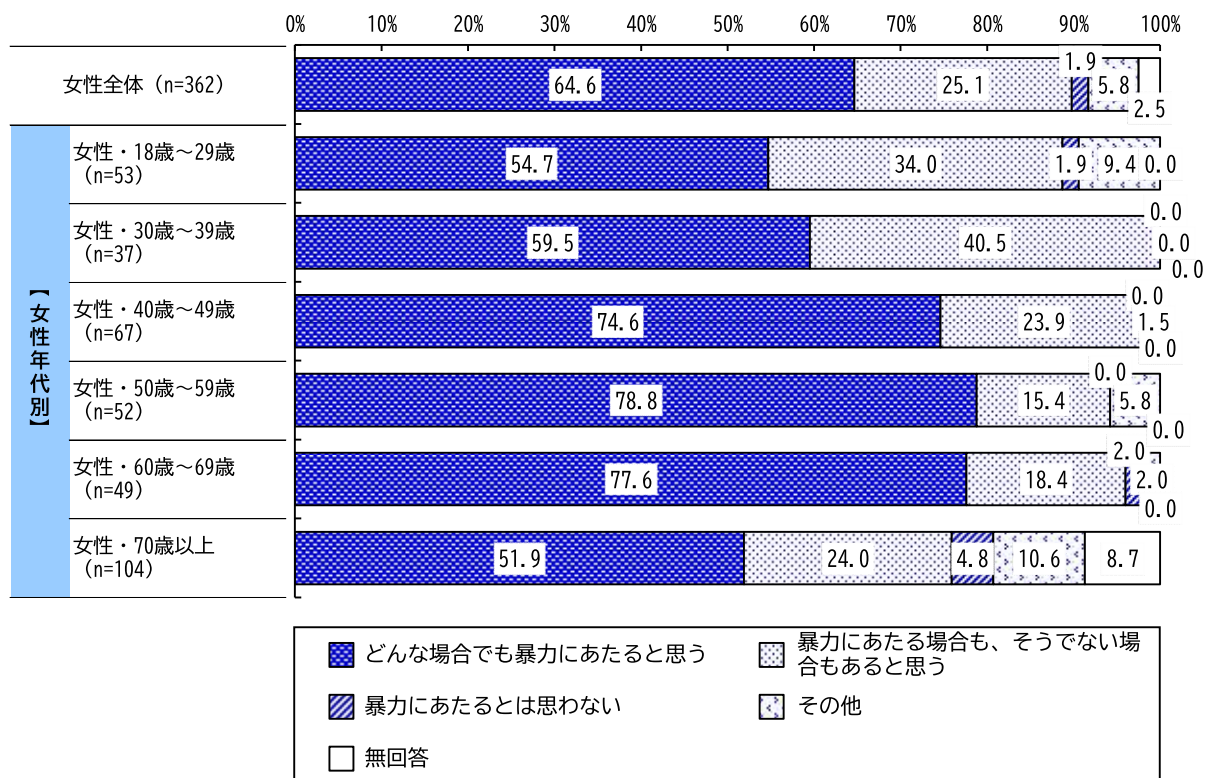
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

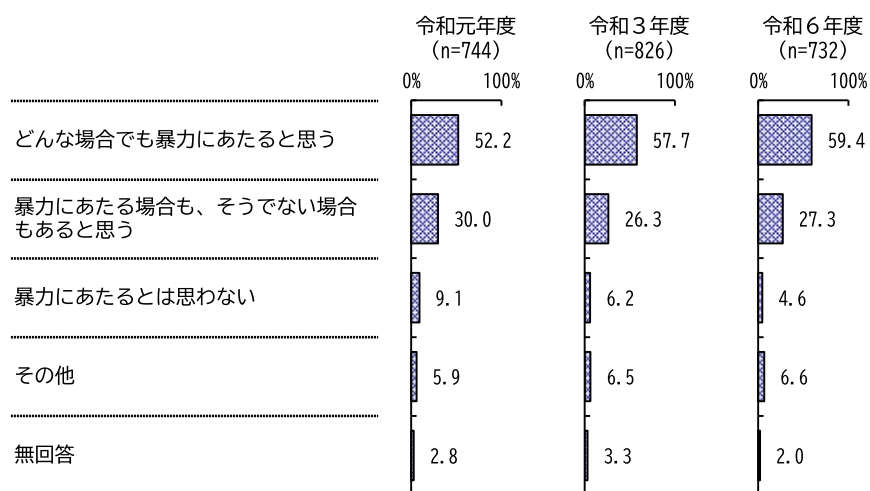


【性・年代別】





【経年比較】



⑩職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する

＜職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する＞は
「どんな場合でも暴力にあたると思う」が72.7%。

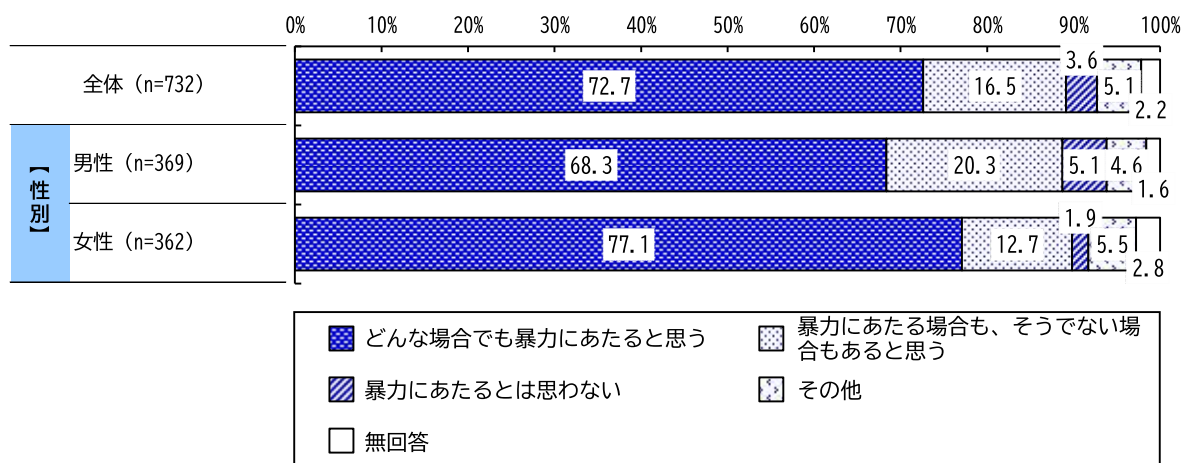
【⑩職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が72.7%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が16.5%、「暴力にあたるとは思わない」が3.6%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は68.3%、女性は77.1%となっており、男女間で差がややみられます。

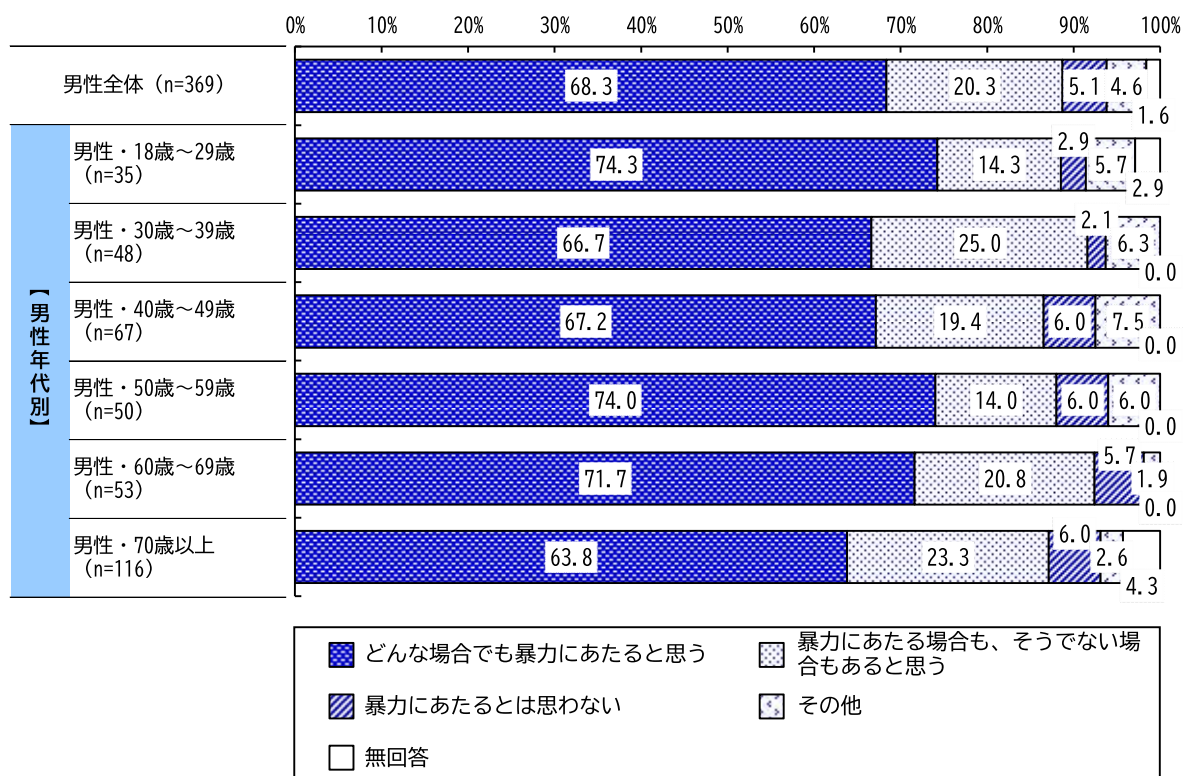
性・年代別でみると、40歳～49歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が、男性と女性で20ポイント以上の差があります。

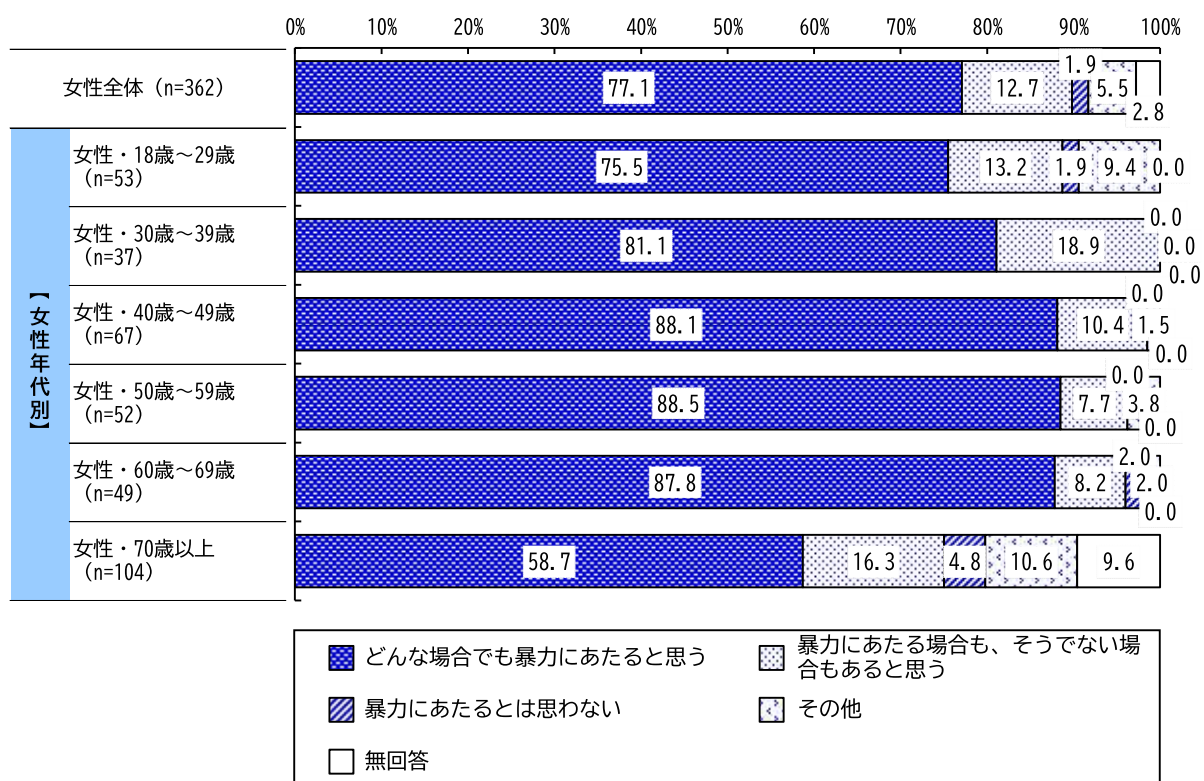
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

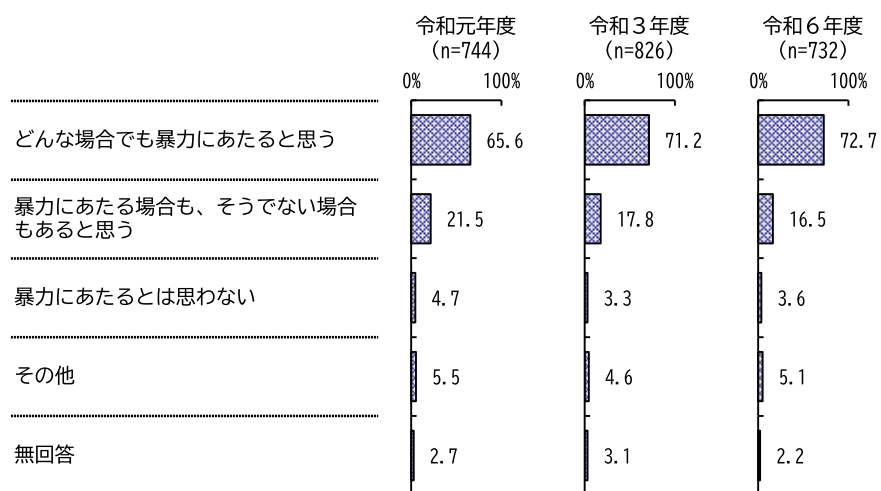


【性・年代別】





【経年比較】



⑪何を言っても長期間無視し続ける

＜何を言っても長期間無視し続ける＞は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が65.8%。

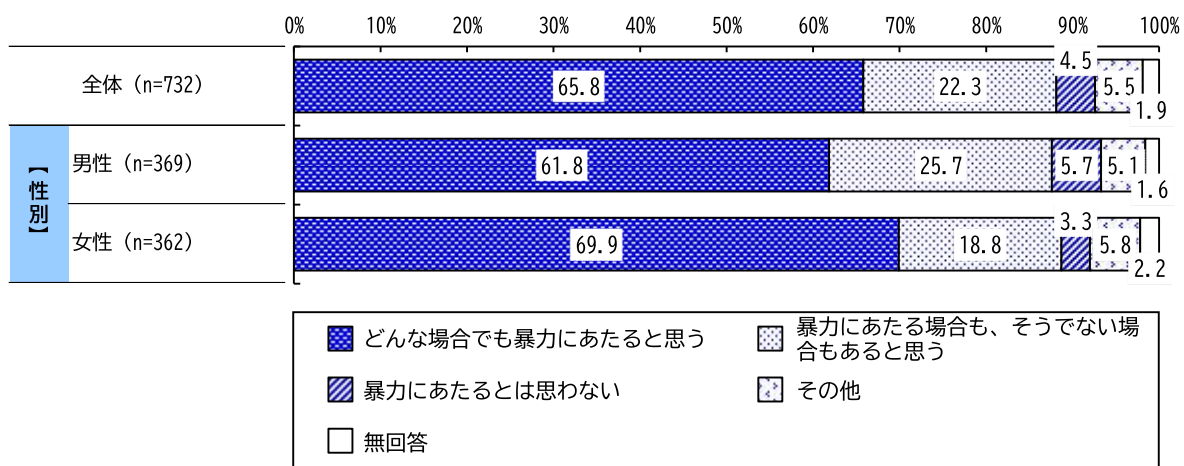
【⑪何を言っても長期間無視し続ける】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が65.8%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が22.3%、「暴力にあたるとは思わない」が4.5%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は61.8%、女性は69.9%となっており、男女間で差がややみられます。

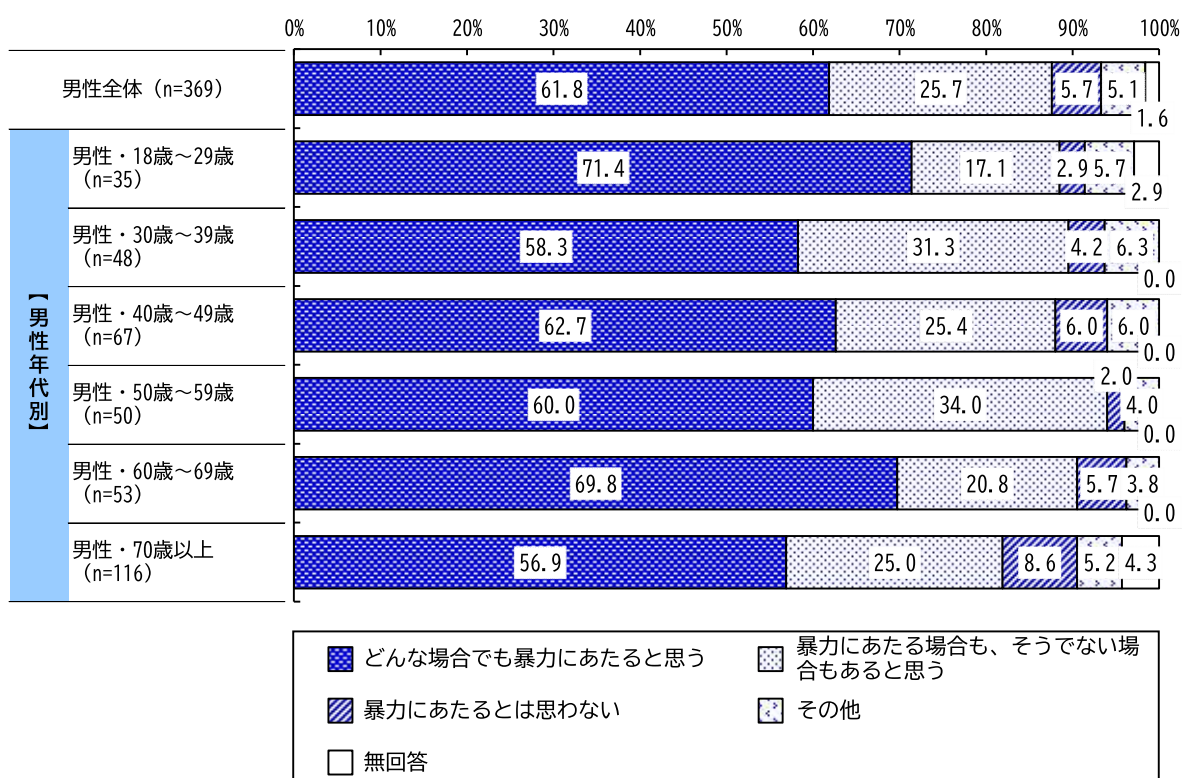
性・年代別でみると、40歳～49歳、50歳～59歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が、男性と女性で20ポイント以上の差があります。

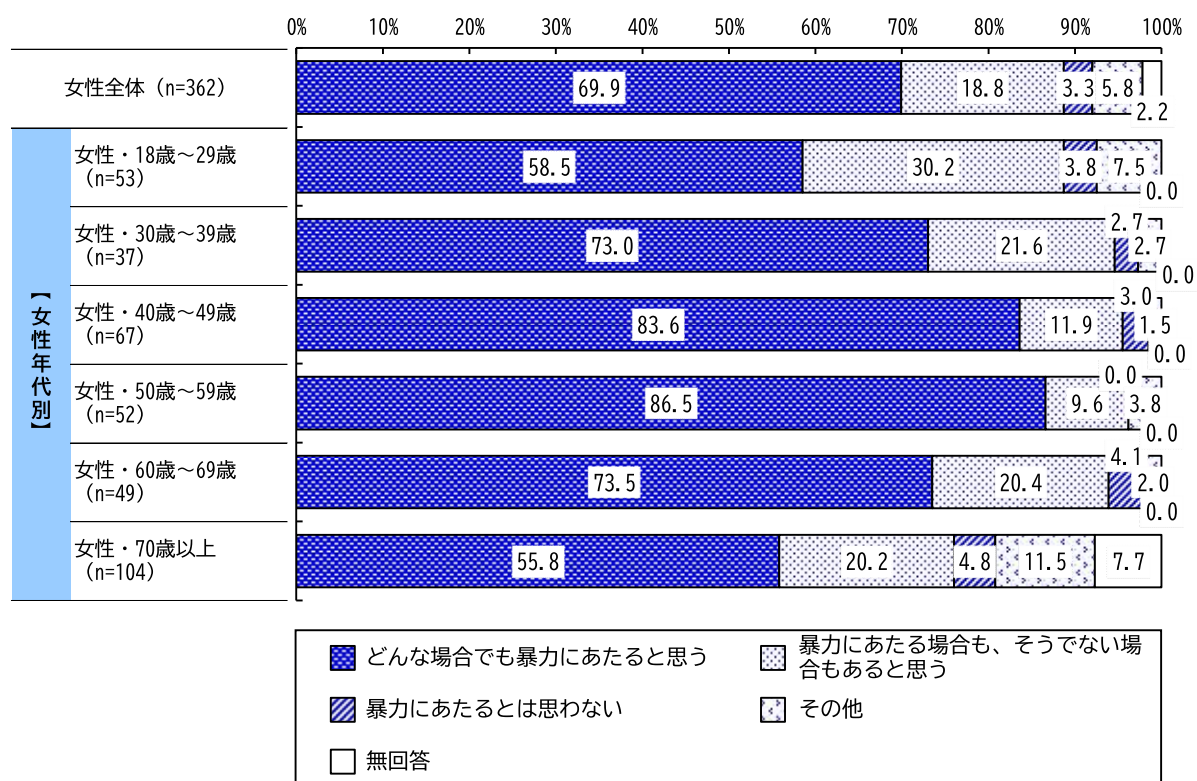
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

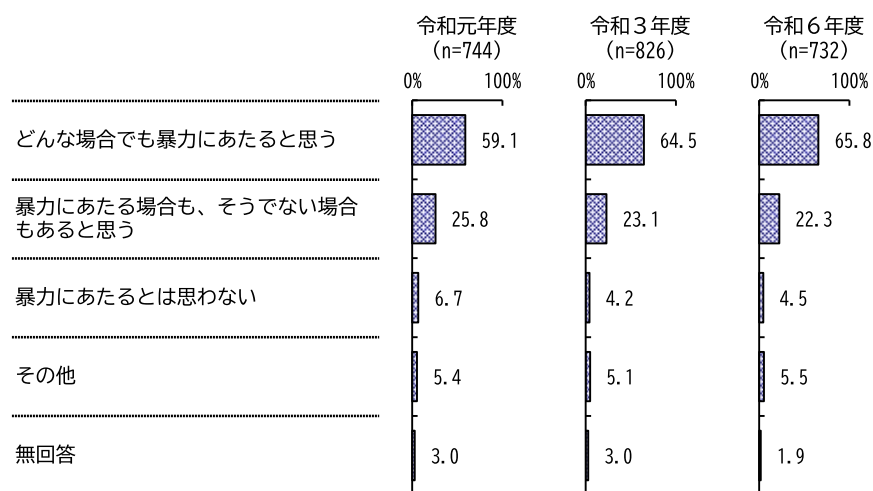


【性・年代別】





【経年比較】



⑫「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性なし」と言う

＜「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性なし」と言う＞は
「どんな場合でも暴力にあたると思う」が74.5%。

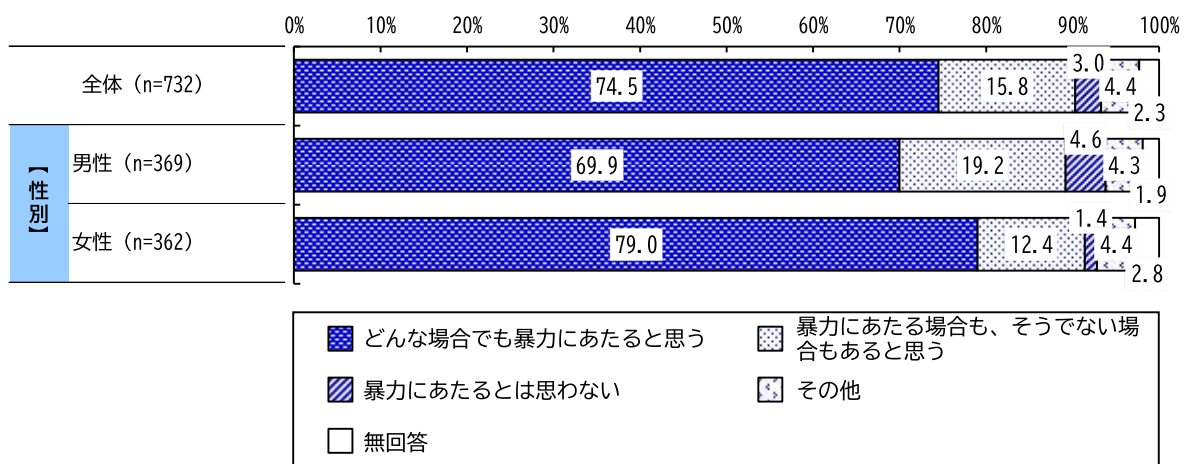
【⑫「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性なし」と言う】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が74.5%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が15.8%、「暴力にあたるとは思わない」が3.0%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は69.9%、女性は79.0%となっており、男女間で差がややみられます。

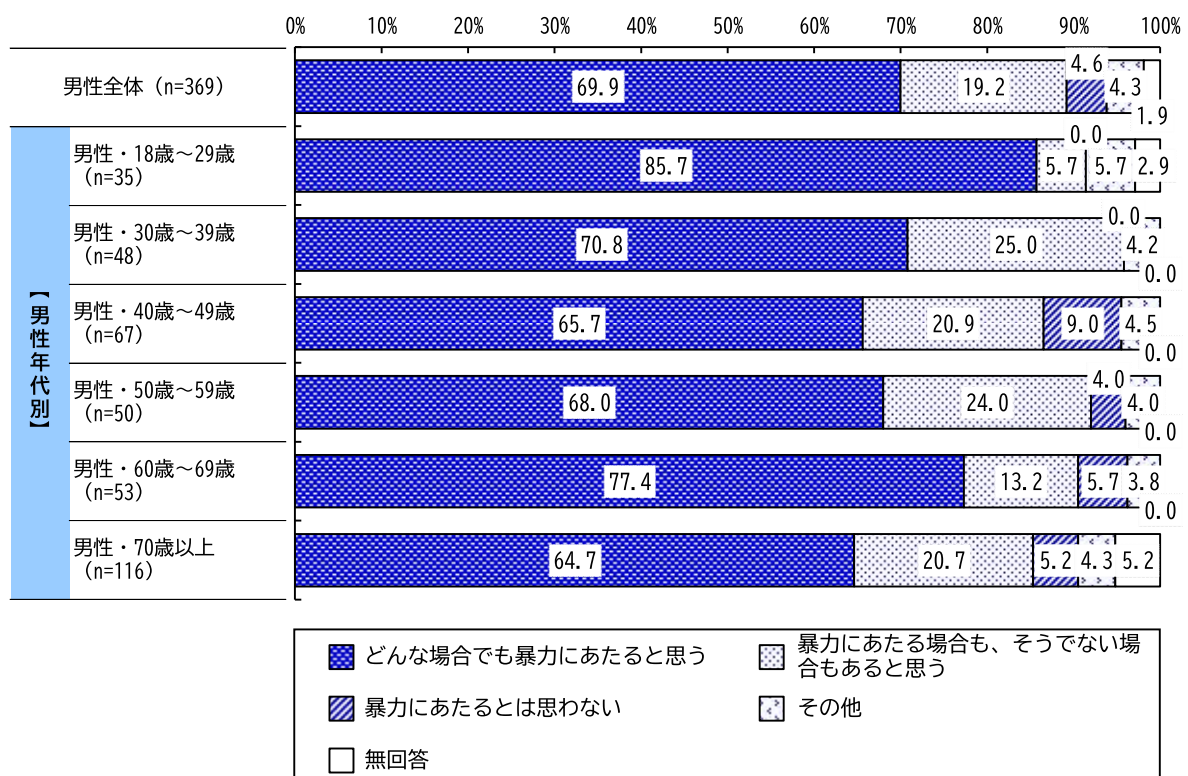
性・年代別でみると、50歳～59歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が、男性と女性で20ポイント以上の差があります。

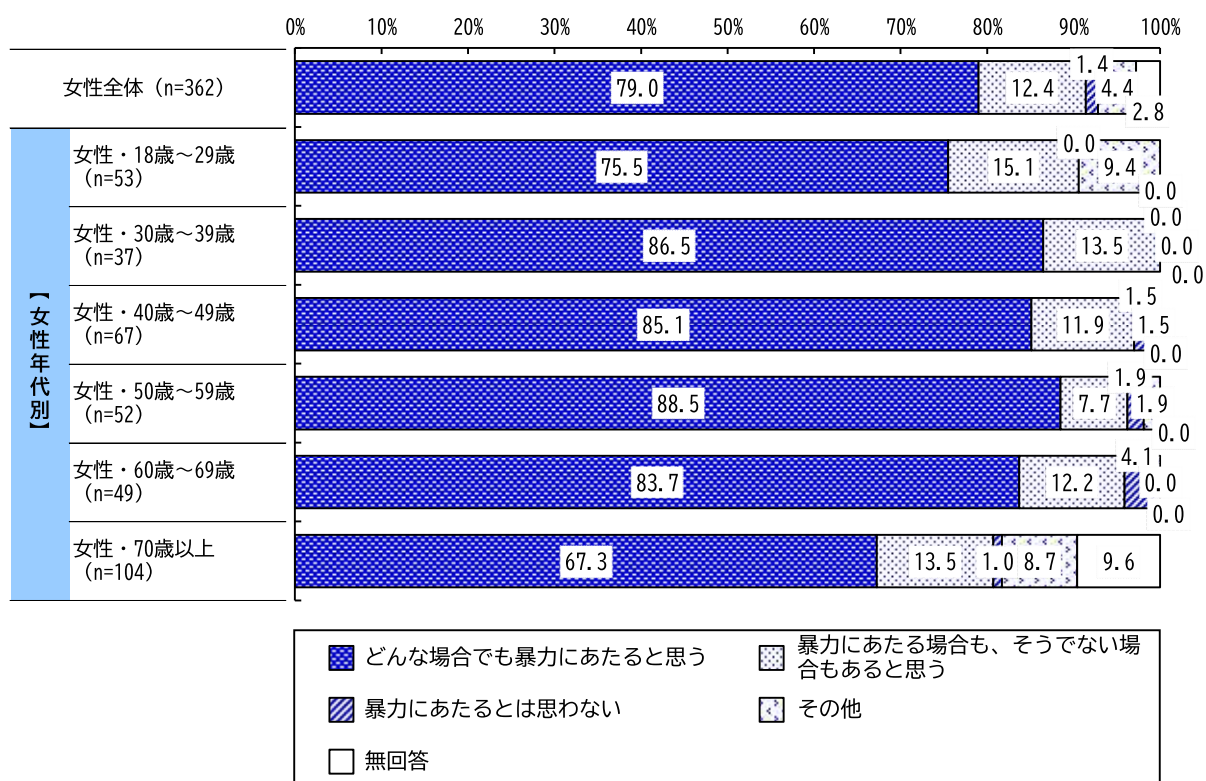
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

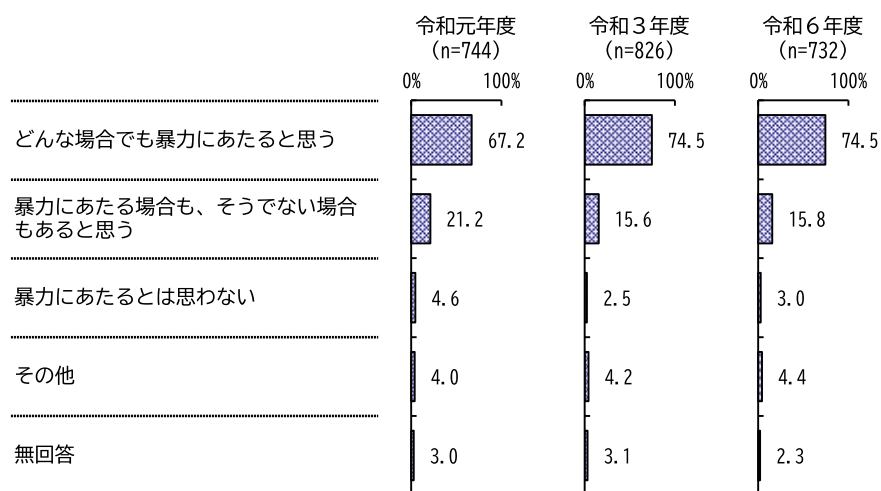


【性・年代別】





【経年比較】



⑬家計に必要な生活費を渡さない

＜家計に必要な生活費を渡さない＞は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が 75.4%。

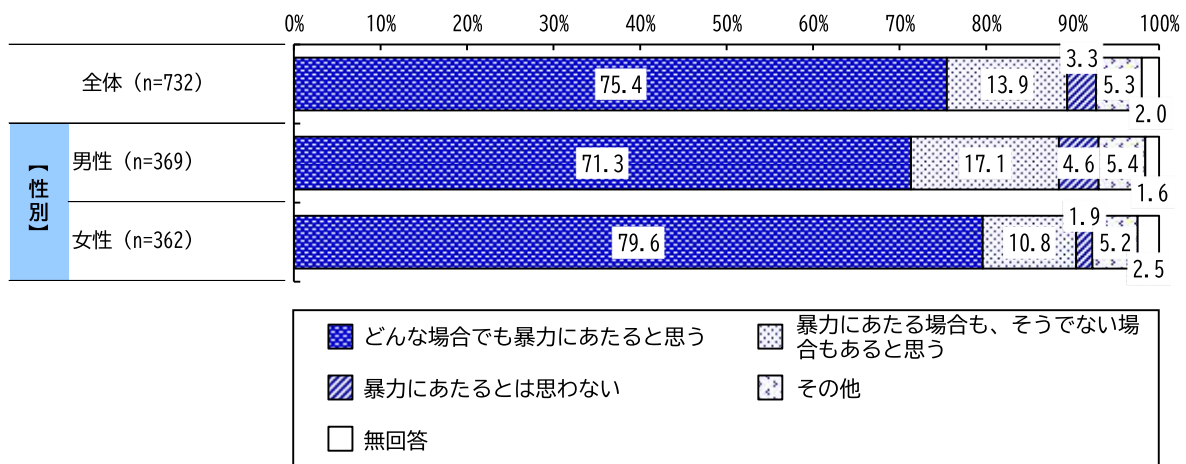
【⑬家計に必要な生活費を渡さない】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が 75.4%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が 13.9%、「暴力にあたるとは思わない」が 3.3%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は 71.3%、女性は 79.6%となっており、男女間で差がややみられます。

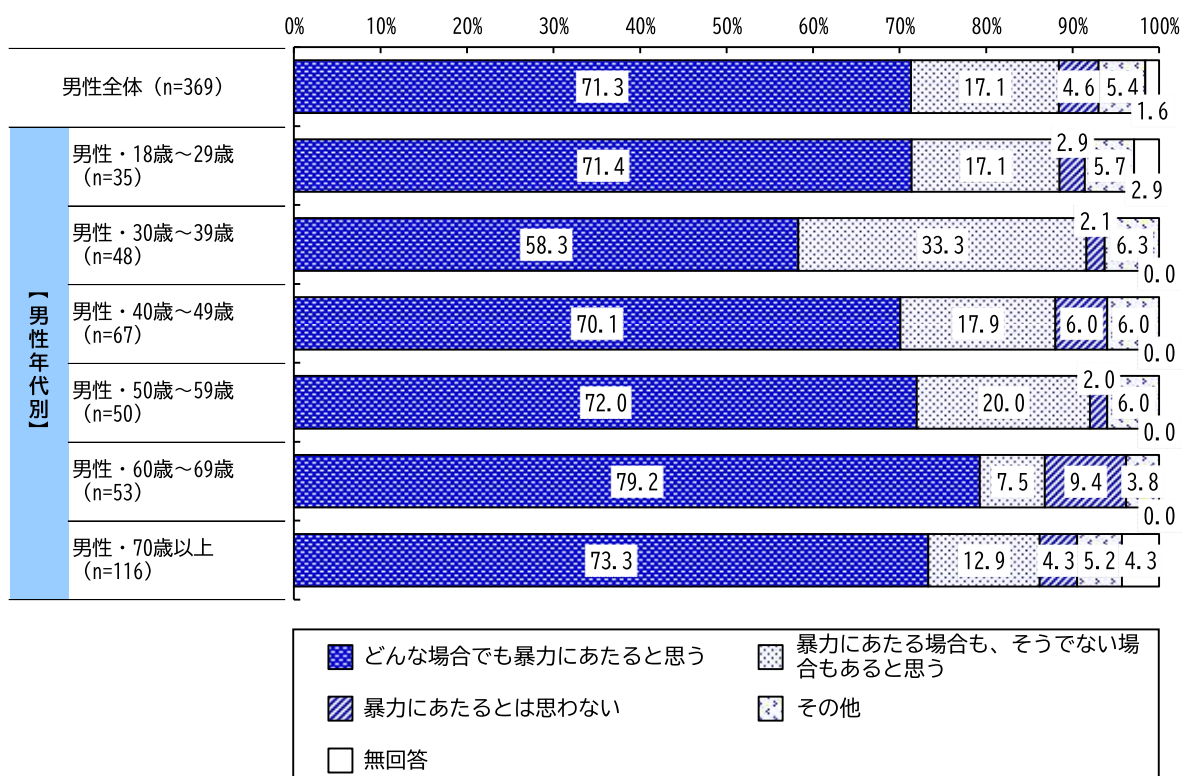
性・年代別でみると、男性の 30 歳～39 歳、女性の 70 歳以上で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が他の年代より低くなっています。また、30 歳～39 歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が、男性と女性で 20 ポイント以上の差があります。

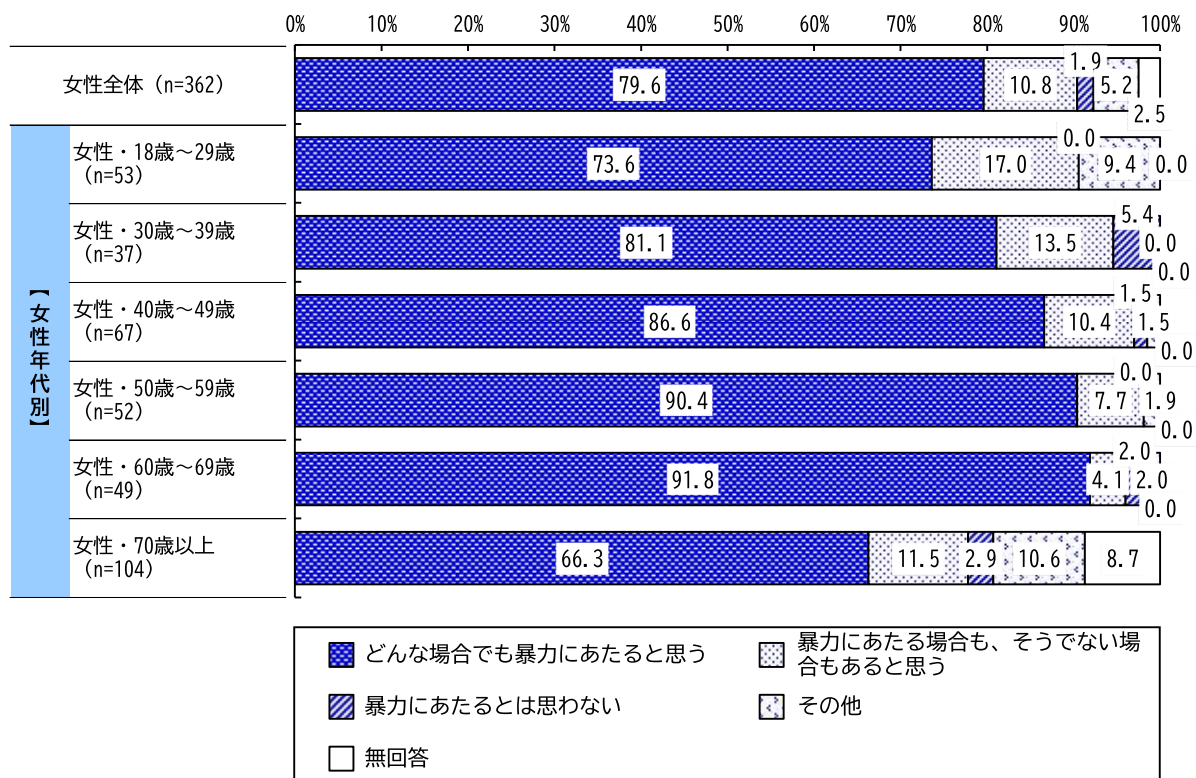
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

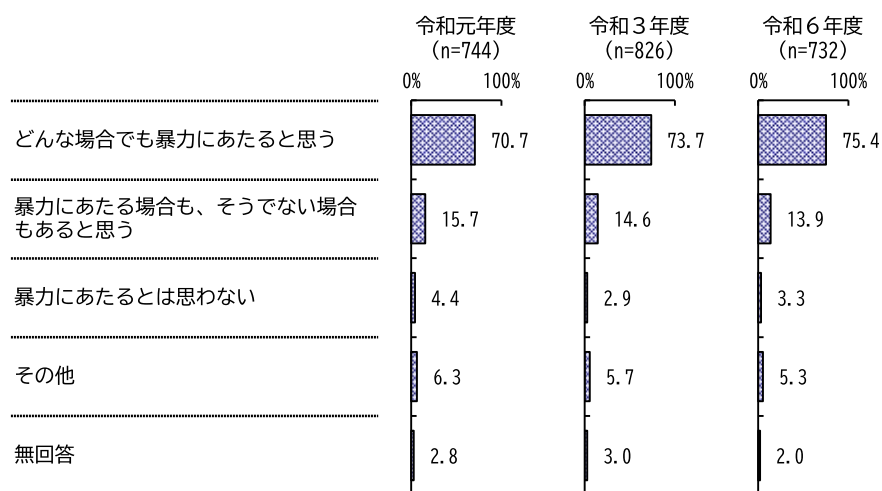


【性・年代別】





【経年比較】



⑭嫌がっているのに性的な行為を強要する

＜嫌がっているのに性的な行為を強要する＞は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が86.1%。

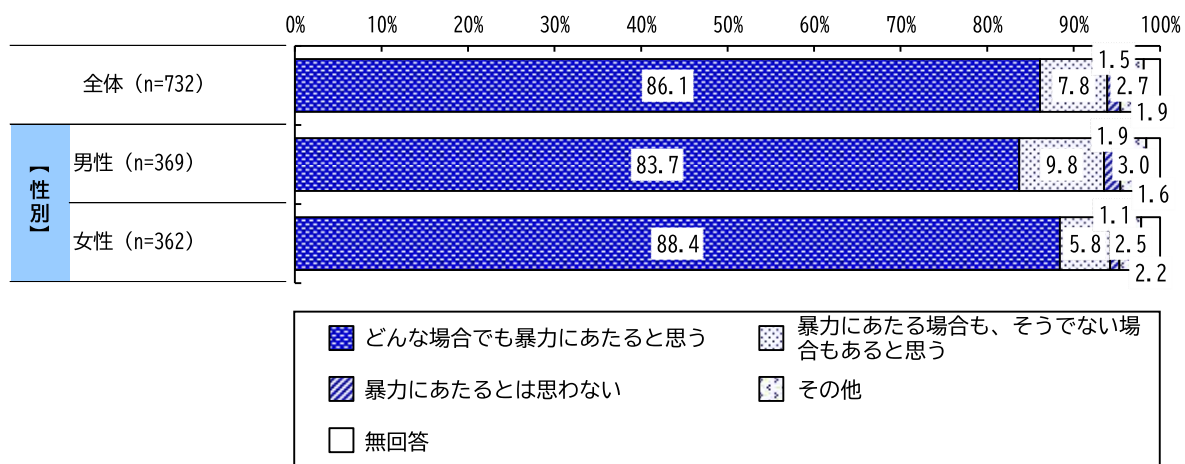
【⑭嫌がっているのに性的な行為を強要する】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が86.1%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が7.8%、「暴力にあたるとは思わない」が1.5%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は83.7%、女性は88.4%となっています。

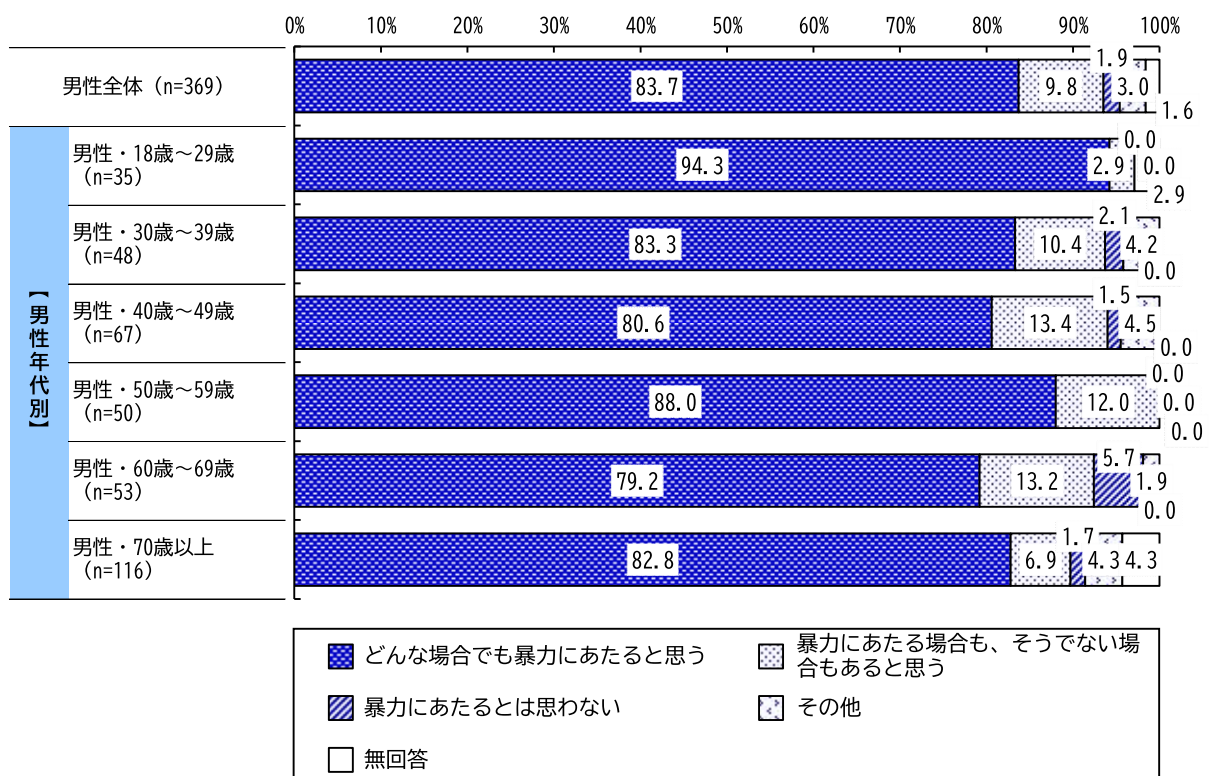
性・年代別でみると、女性の70歳以上で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が他の年代より低くなっています。また、30歳～39歳、40歳～49歳、60歳～69歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が、男性と女性で10ポイント以上の差があります。

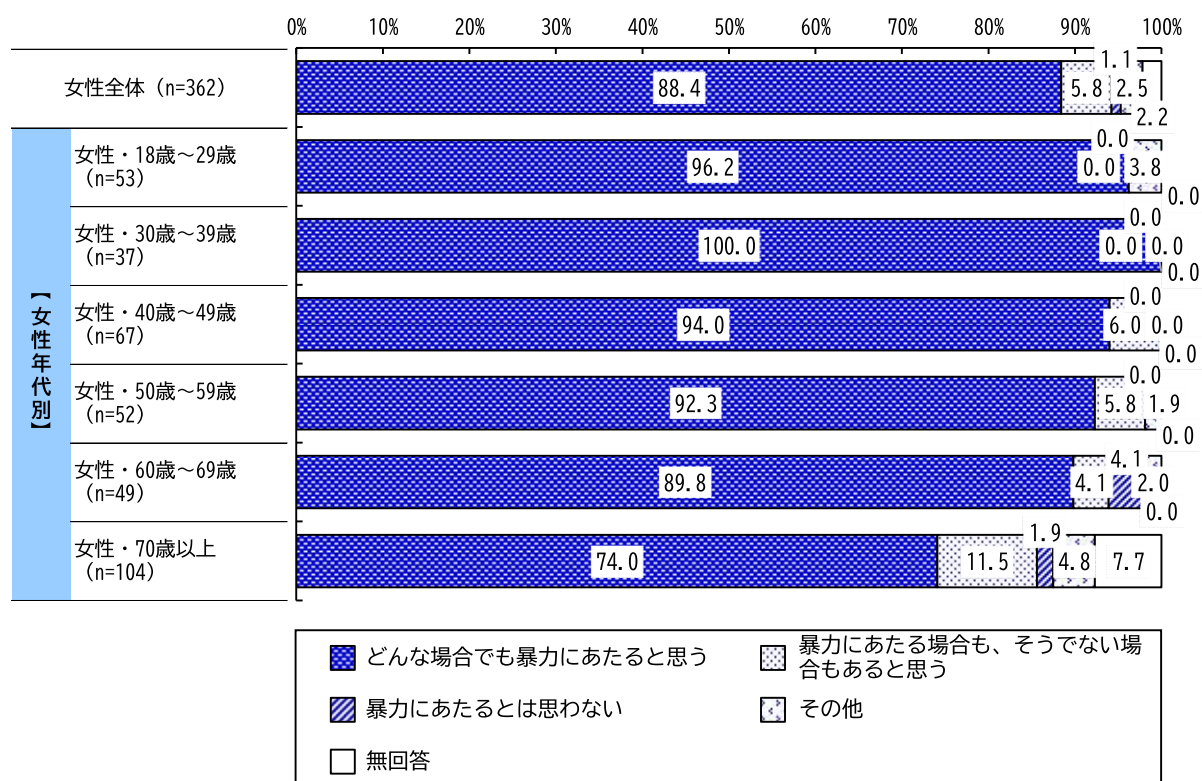
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

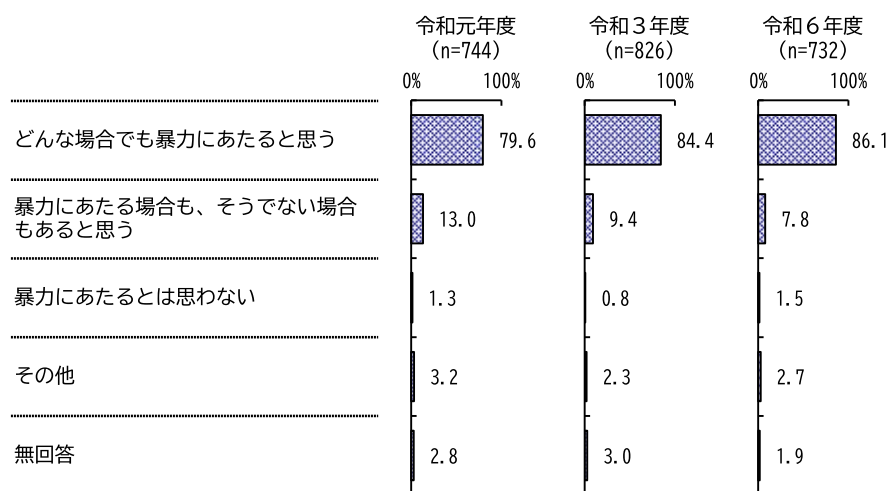


【性・年代別】





【経年比較】



⑮避妊に協力しない

<避妊に協力しない>は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が78.8%。

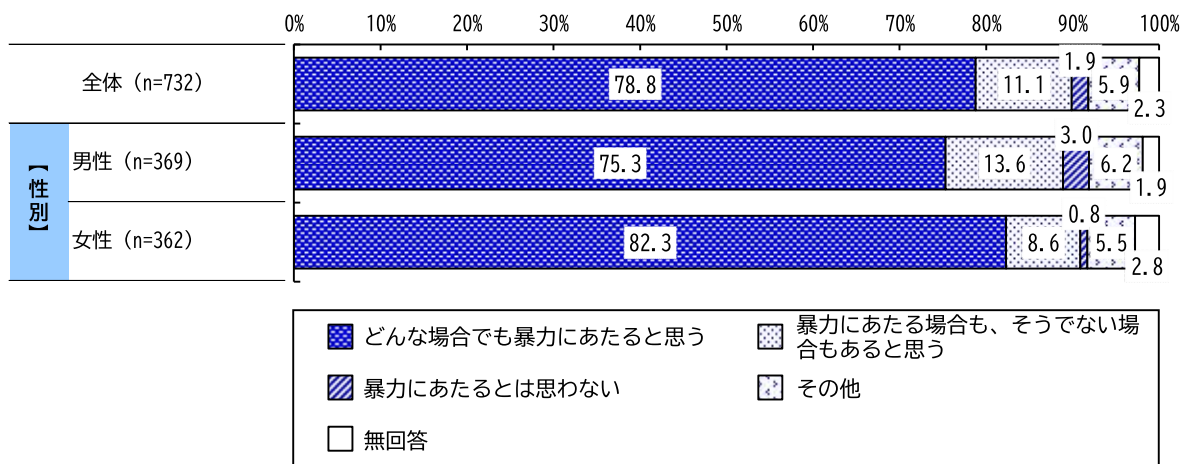
【⑮避妊に協力しない】は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が78.8%、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が11.1%、「暴力にあたるとは思わない」が1.9%となっています。

性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が男性は75.3%、女性は82.3%となっており、男女間で差がややみられます。

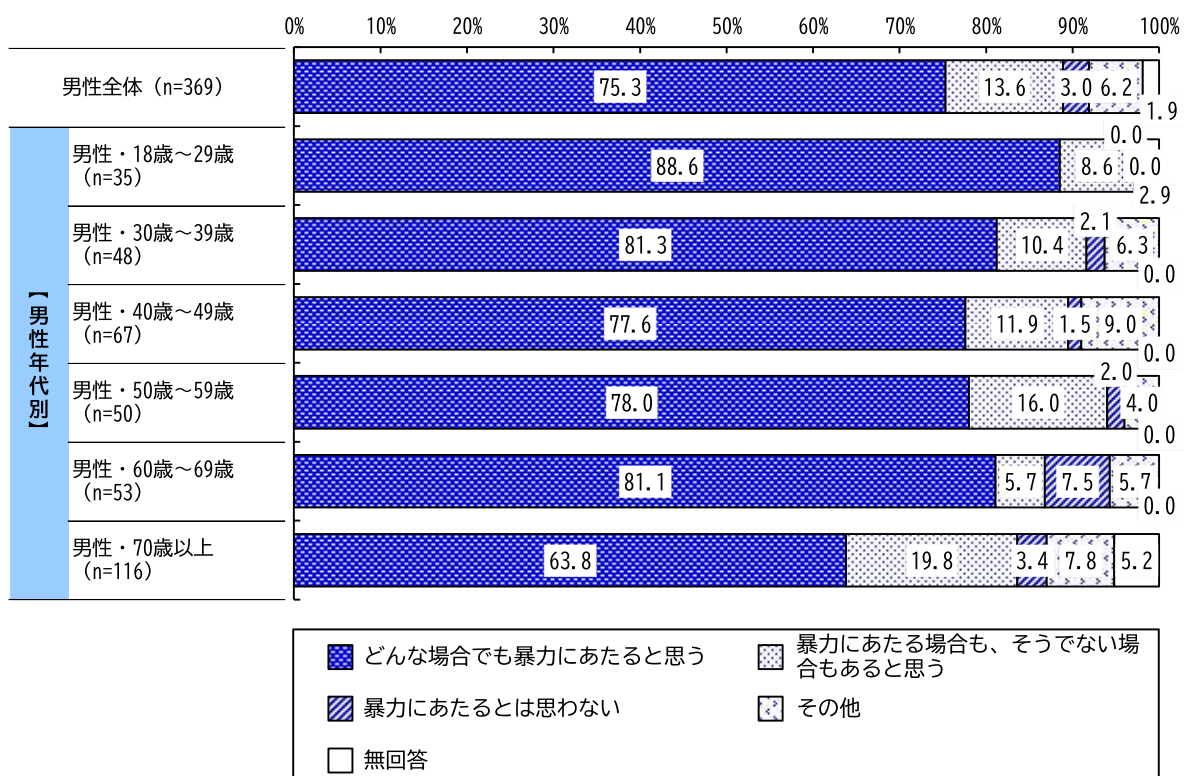
性・年代別でみると、男性、女性ともに70歳以上で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が他の年代より低くなっています。また、30歳～39歳、40歳～49歳、60歳～69歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が、男性と女性で10ポイント以上の差があります。

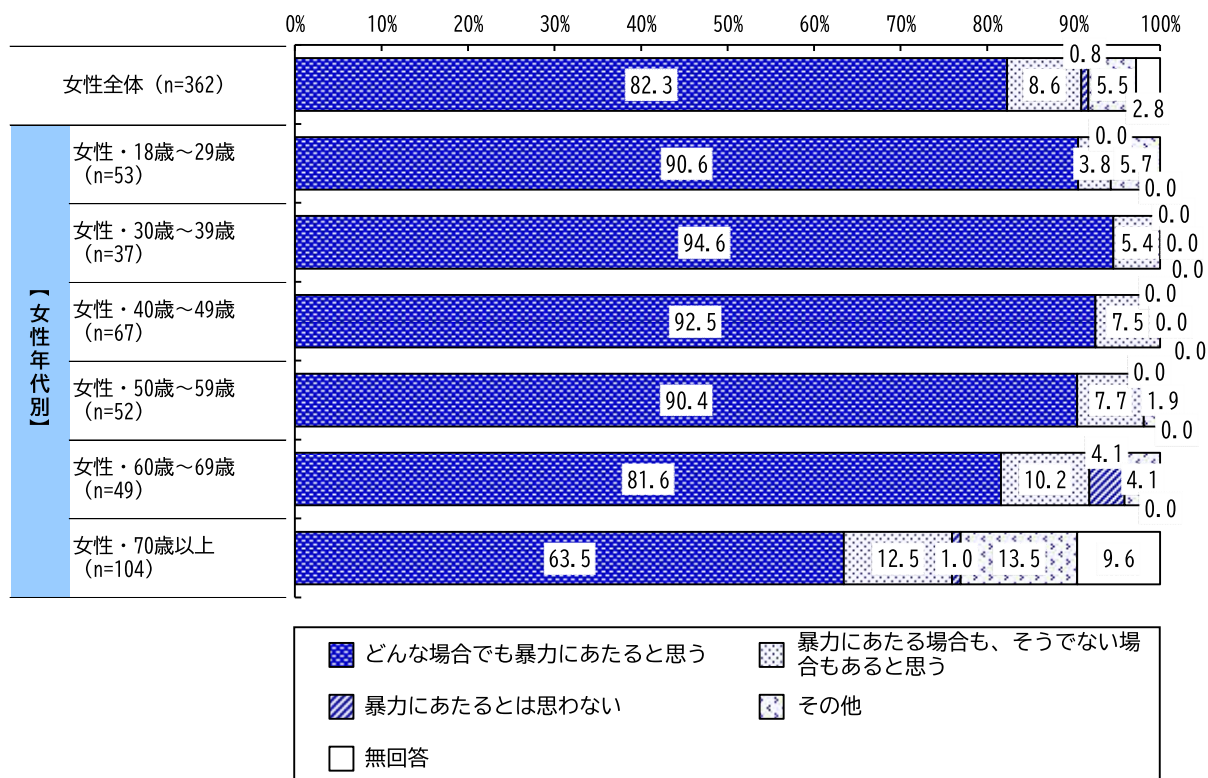
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】

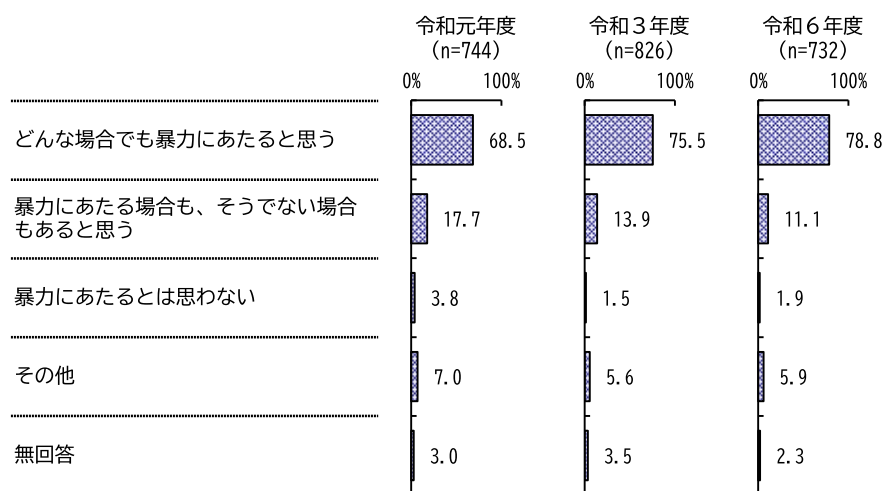


【性・年代別】





【経年比較】



ドメスティック・バイオレンスだと思う行為まとめ

各項目の特徴を下表にまとめました。すべての項目で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が半数を超えています。

	「どんな場合でも暴力にあたると思う」割合	性年代別の特徴
① 平手で打つ	8割弱	男性、女性ともに60歳～69歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が他の年代と比べて高い。
② 足でける	9割弱	男性、女性ともに18歳～29歳、30歳～39歳で「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」の割合が他の年代と比べて高い。
③ 身体を傷つける可能性のある物でなぐる	9割以上	男性、女性ともに全ての年代で9割以上。
④ なぐるふりをして、おどす	7割	男性、女性ともに70歳以上で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が他の年代と比べて低い。
⑤ 刃物などを突きつけて、おどす	9割以上	男性30歳～39歳以外の男性、女性全ての年代で9割以上。
⑥ 大声でどなる	6割弱	女性40歳～49歳、女性60歳～69歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が他の年代と比べて高い。
⑦ ほかの異性との会話を許さない	6割弱	男性18歳～29歳、女性40歳～49歳、女性50歳～59歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が他の年代と比べて高い。
⑧ 家族や友人との関わりを持たせない	7割弱	女性40歳～49歳、女性50歳～59歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が他の年代と比べて高い。
⑨ 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	6割	女性40歳～49歳、女性50歳～59歳、女性60歳～69歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が他の年代と比べて高い。
⑩ 職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する	7割強	女性30歳～39歳、女性40歳～49歳、女性50歳～59歳、女性60歳～69歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が8割。
⑪ 何を言っても長期間無視し続ける	7割弱	女性40歳～49歳、女性50歳～59歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が他の年代と比べて高い。
⑫ 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性なし」と言う	7割強	男性18歳～29歳、女性30歳～39歳、女性40歳～49歳、女性50歳～59歳、女性60歳～69歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が8割。
⑬ 家計に必要な生活費を渡さない	8割弱	女性50歳～59歳、女性60歳～69歳で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が9割以上。
⑭ 嫌がっているのに性的な行為を強要する	9割弱	男性18歳～29歳、女性50歳～59歳以下の年代で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が9割以上。
⑮ 避妊に協力しない	8割	女性50歳～59歳以下の年代で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が9割以上。

3. ドメスティック・バイオレンスだと思わない理由

問6-3 (問6-2の①から⑮のうち1つでも「2」、「3」と答えた方に伺います。) そのような行為が「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」、「暴力にあたるとは思わない」と思ったのはなぜですか。(あてはまるもの全てに○)

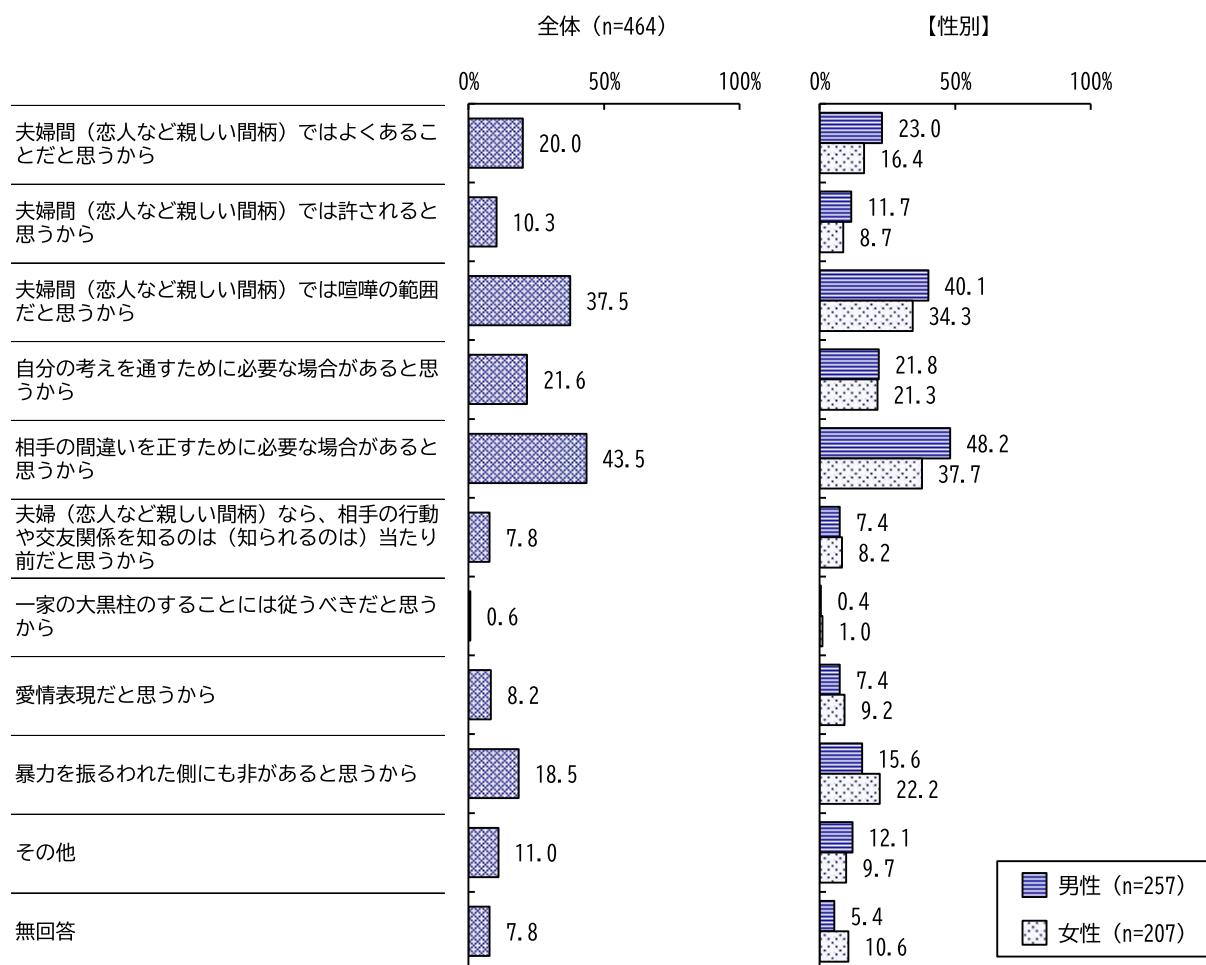
暴力だと思わない理由は「相手の間違いを正すために必要な場合があると思うから」が43.5%、「夫婦間(恋人など親しい間柄)では喧嘩の範囲だと思うから」が37.5%。

ドメスティック・バイオレンスだと思わない理由は「相手の間違いを正すために必要な場合があると思うから」が43.5%と最も高く、次に「夫婦間(恋人など親しい間柄)では喧嘩の範囲だと思うから」が37.5%、「自分の考えを通すために必要な場合があると思うから」が21.6%となっています。

性別でみると、男性が女性より高い割合となっている項目は「相手の間違いを正すために必要な場合があると思うから」(10.5ポイント差)、「夫婦間(恋人など親しい間柄)ではよくあることだと思うから」(6.6ポイント差)などがあり、女性が男性より高い割合となっている項目は「暴力を振るわれた側にも非があると思うから」(6.6ポイント差)などとなっています。

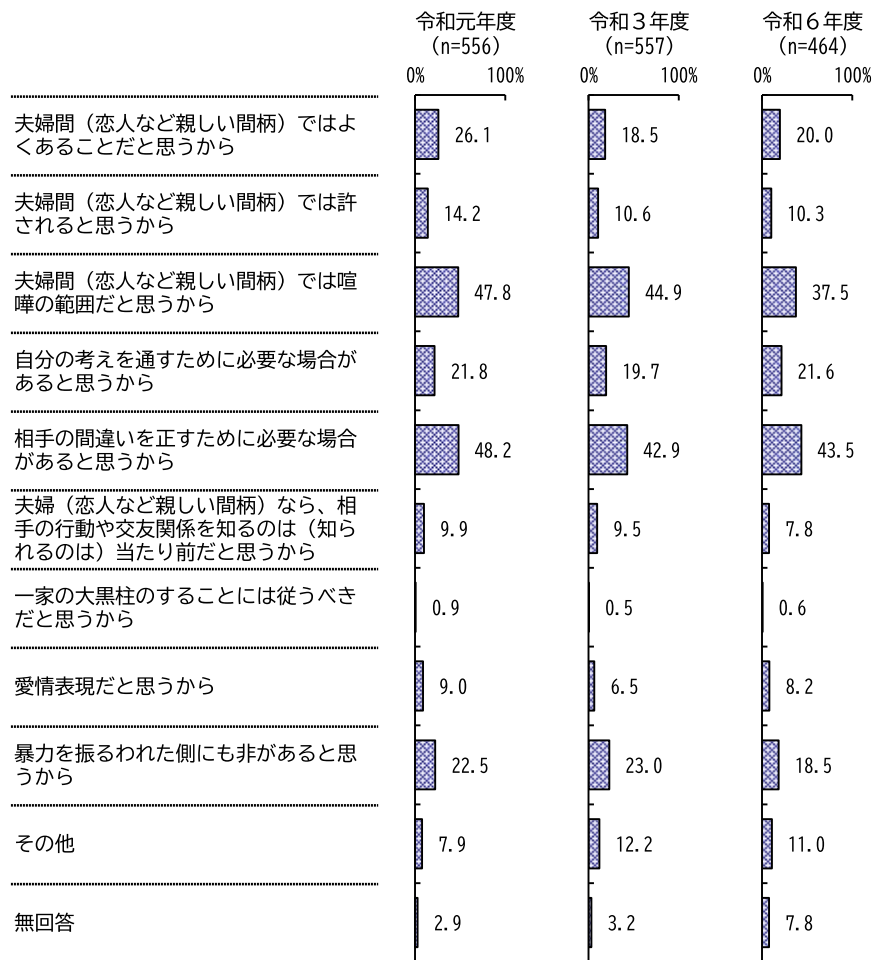
経年比較でみると、「夫婦間(恋人など親しい間柄)ではよくあることだと思うから」がやや減少しているものの、大きな変化はありません。

【全体・性別】



3 パートナー間の暴力やセクシュアル・ハラスメントについて

【経年比較】



4. ドメスティック・バイオレンスをなくすために重要なこと

問7 「夫婦・恋人など親しい間柄にあるパートナー間の暴力」(ドメスティック・バイオレンス)をなくすためには、どうしたらよいとお考えになりますか。あなたが、重要であるとお考えのものをお選びください。(3つまでに○)

暴力をなくすために重要なことは「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」が51.0%。

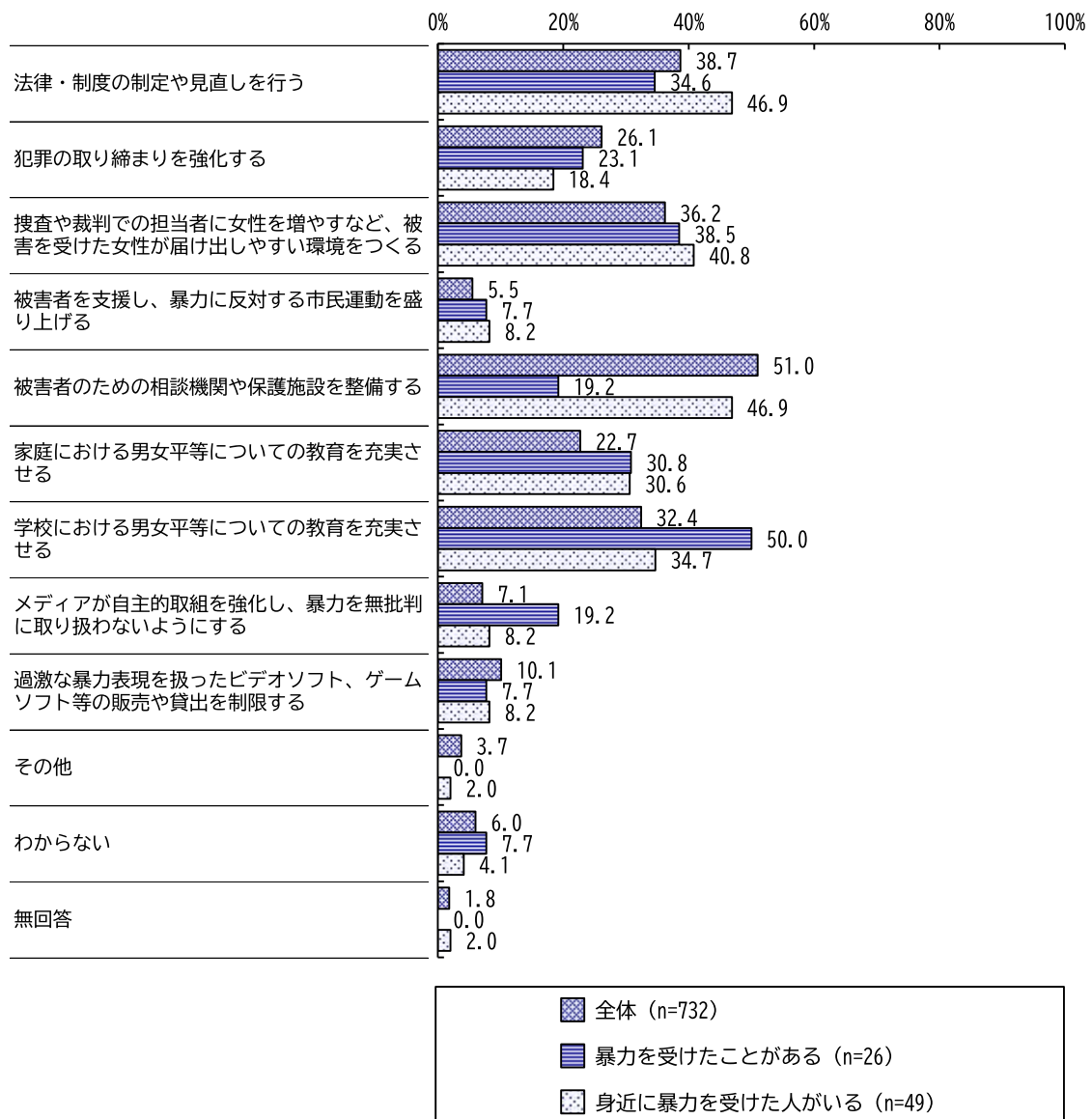
ドメスティック・バイオレンスをなくすためには、どうしたらよいと考えるかについては「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」が51.0%と最も高く、次に「法律・制度の制定や見直しを行う」が38.7%、「捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届け出しやすい環境をつくる」が36.2%となっています。

過去1年間でのドメスティック・バイオレンスの経験・見聞別でみると、「暴力を受けたことがある」では「学校における男女平等についての教育を充実させる」が50.0%と最も高く、次に「捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届け出しやすい環境をつくる」が38.5%となっています。「身近に暴力を受けた人がいる」では「法律・制度の制定や見直しを行う」、「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」がともに46.9%と最も高くなっています。また、「暴力を受けたことがある」と「身近に暴力を受けた人がいる」を比較すると、「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」で27.7ポイント差、「学校における男女平等についての教育を充実させる」で15.3ポイント差、「法律・制度の制定や見直しを行う」で12.3ポイント差などとなっています。

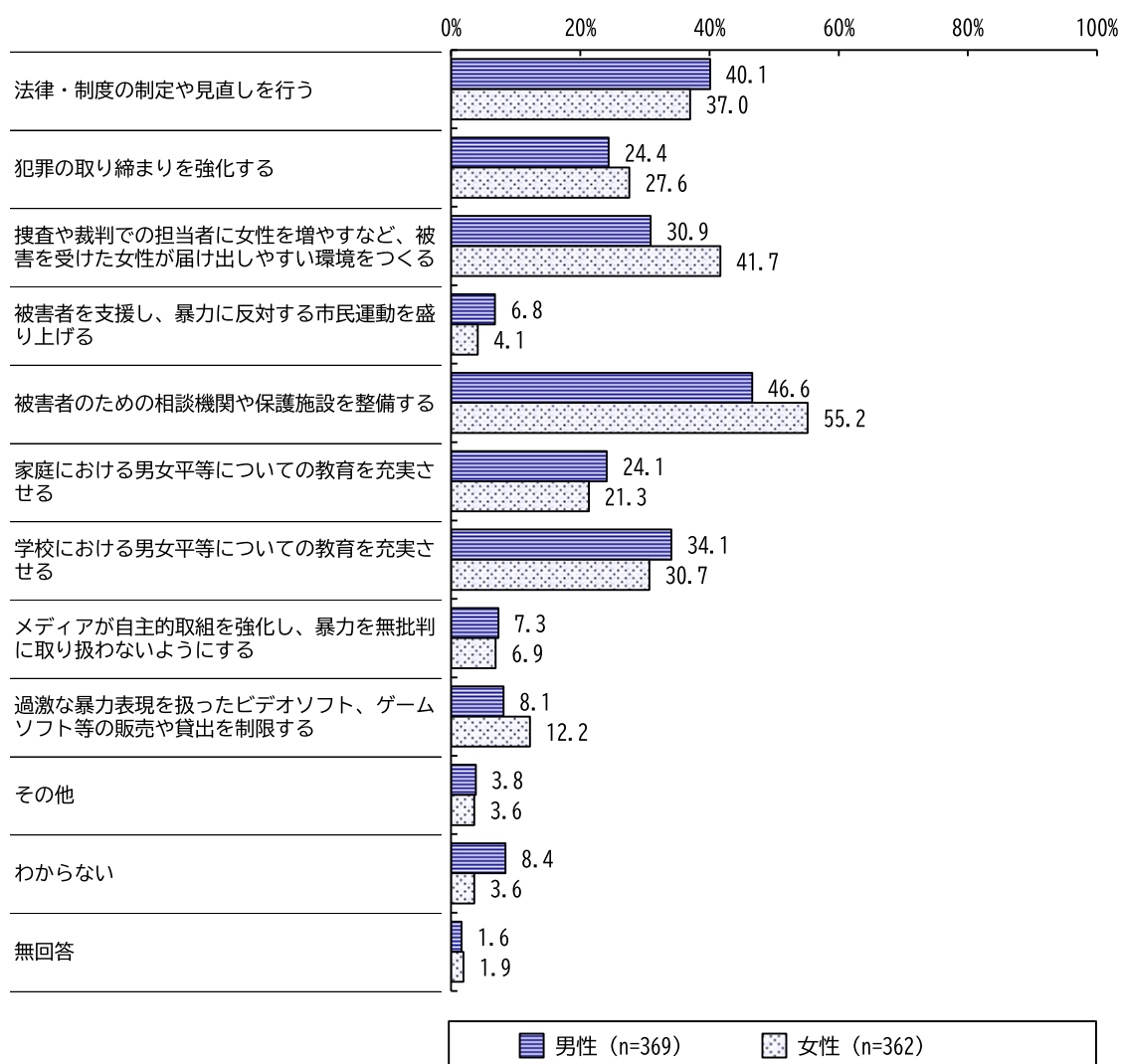
性別でみると、男性、女性ともに「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」が最も高くなっています。次に、男性では「法律・制度の制定や見直しを行う」、女性では「捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届け出しやすい環境をつくる」となっています。また、女性が男性より高い割合となっている項目は「捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届け出しやすい環境をつくる」(10.8ポイント差)、「被害者のための相談機関や保護施設を整備する」(8.6ポイント差)などとなっています。

経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・過去1年間でドメスティック・バイオレンスの経験・見聞別】

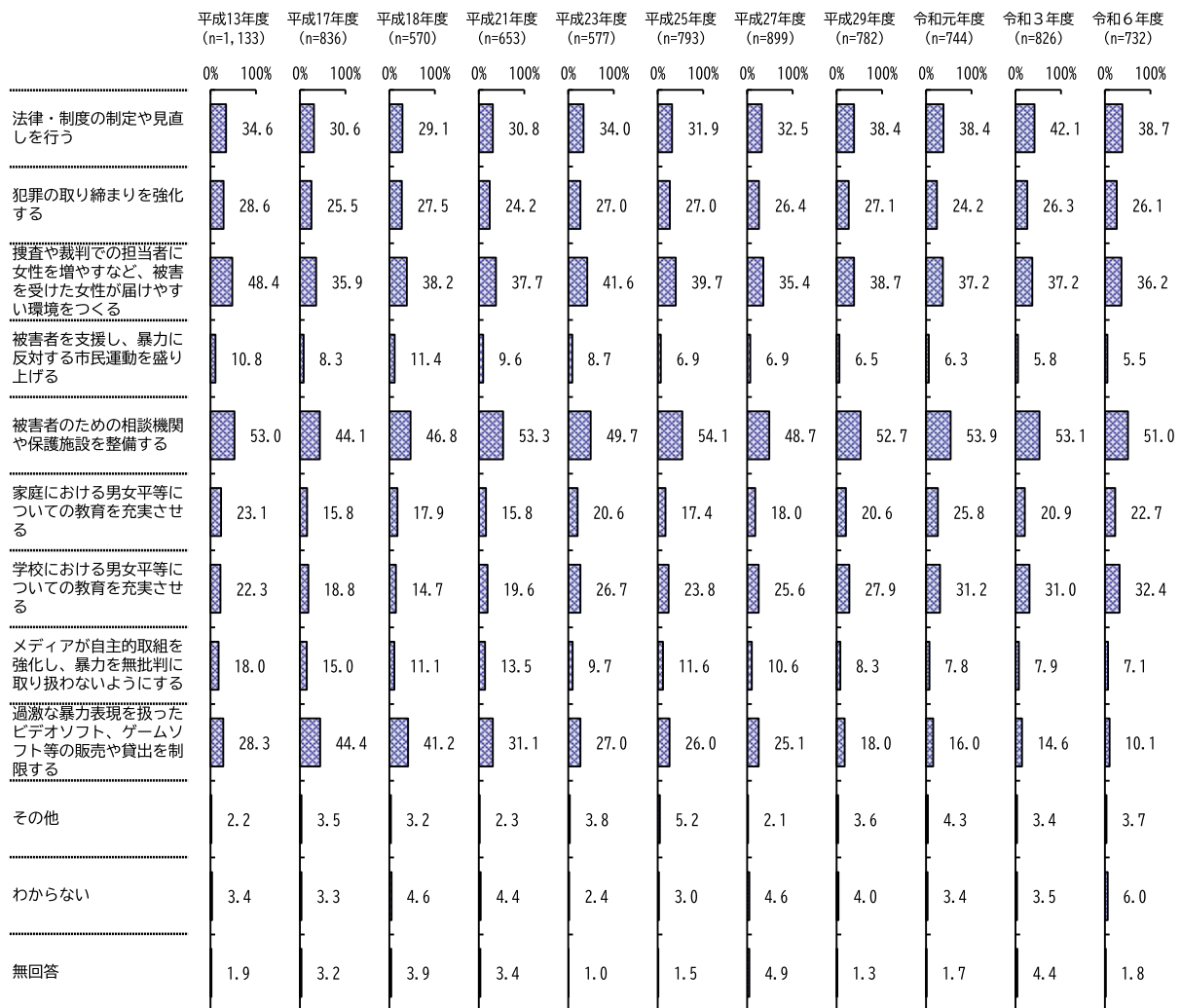


【性別】



3 パートナー間の暴力やセクシュアル・ハラスメントについて

【経年比較】



5. セクシュアル・ハラスメントの経験

問8 過去1年間に、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験したり、見聞きしたことがありますか。（あてはまるもの全てに○）

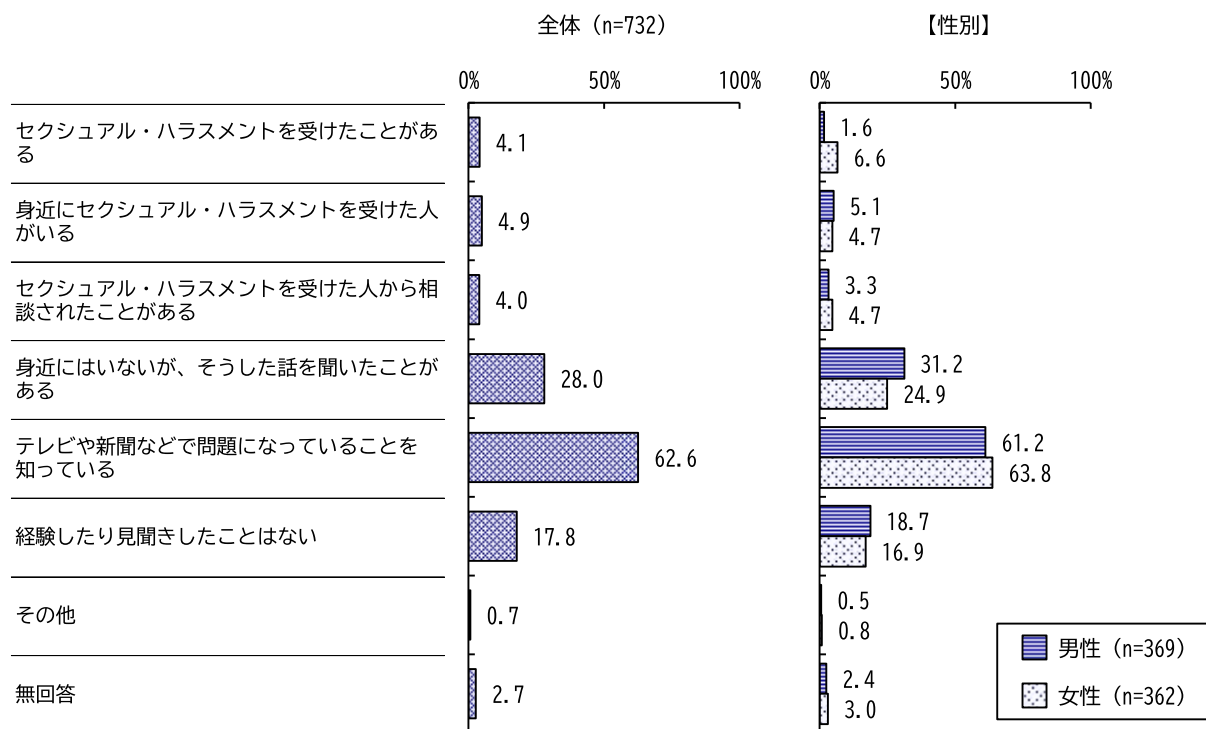
過去1年間にセクシュアル・ハラスメントを経験した女性は6.6%、男性は1.6%。

過去1年間に、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験したり、見聞きしたことがあるかについては「テレビや新聞などで問題になっていることを知っている」が62.6%と最も高く、次に「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が28.0%となっています。また、「セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある」は4.1%、「身近にセクシュアル・ハラスメントを受けた人がいる」は4.9%となっています。一方、「経験したり見聞きしたことはない」は17.8%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「テレビや新聞などで問題になっていることを知っている」が最も高く、次に「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」となっています。また、「セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある」は男性が1.6%、女性が6.6%となっています。

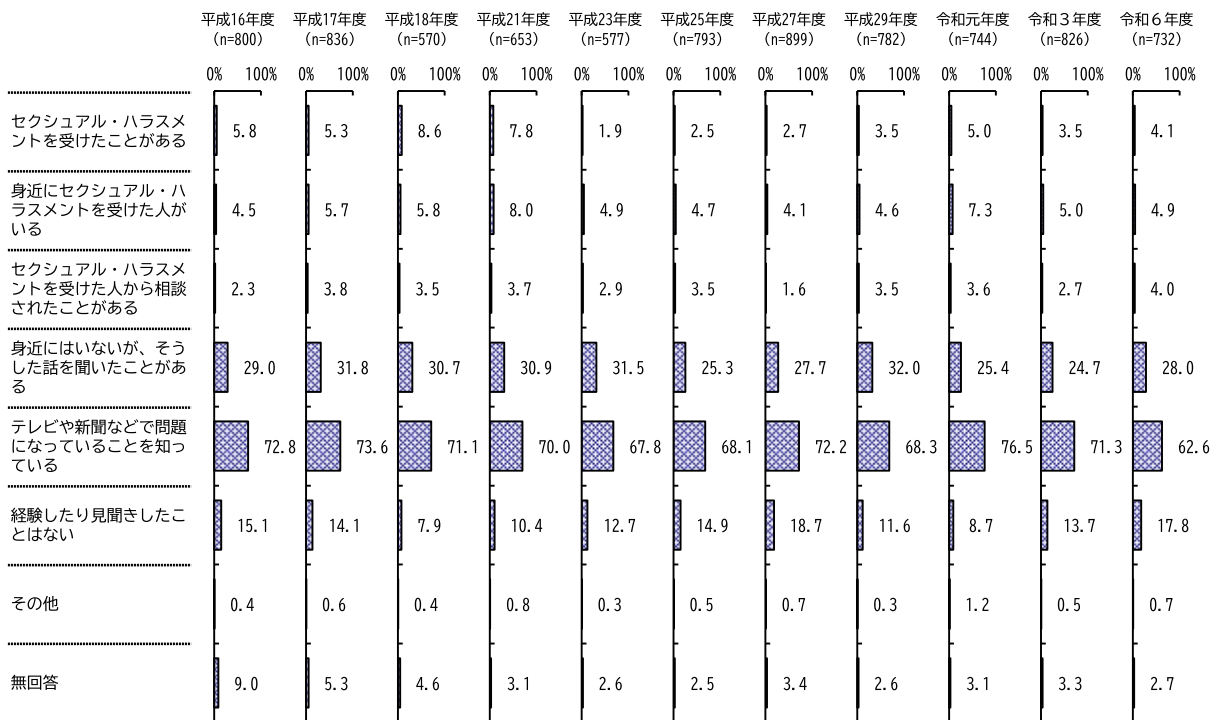
経年比較でみると、「テレビや新聞などで問題になっていることを知っている」がやや減少しているものの、大きな変化はありません。

【全体・性別】



3 パートナー間の暴力やセクシュアル・ハラスメントについて

【経年比較】



6. マタニティ・ハラスメントの経験

問9 過去1年間に、マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産・育児等に関する嫌がらせ）について経験したり、見聞きしたことがありますか。（あてはまるもの全てに○）

過去1年間にマタニティ・ハラスメントを経験した女性は3.3%、男性はなし(0.0%)。

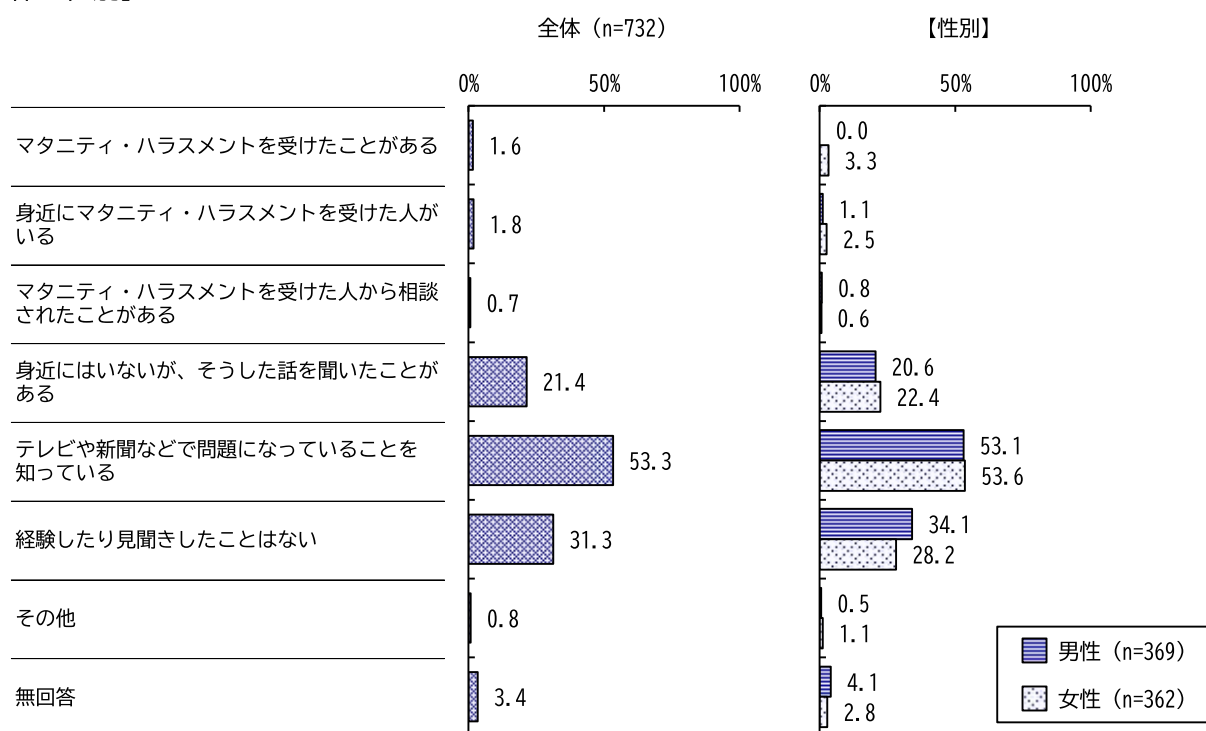
過去1年間に、マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産・育児等に関する嫌がらせ）について経験したり、見聞きしたことがあるかについては「テレビや新聞などで問題になっていることを知っている」が53.3%と最も高く、次に「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が21.4%となっています。また、「マタニティ・ハラスメントを受けたことがある」は1.6%、「身近にマタニティ・ハラスメントを受けた人がいる」は1.8%となっています。一方、「経験したり見聞きしたことはない」は31.3%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「テレビや新聞などで問題になっていることを知っている」が最も高く、次に「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」となっています。また、「マタニティ・ハラスメントを受けたことがある」は男性が0.0%、女性が3.3%となっています。

性・年代別でみると、18歳～29歳、30歳～39歳で「経験したり見聞きしたことはない」の割合が、男性と女性で20ポイント以上の差があります。

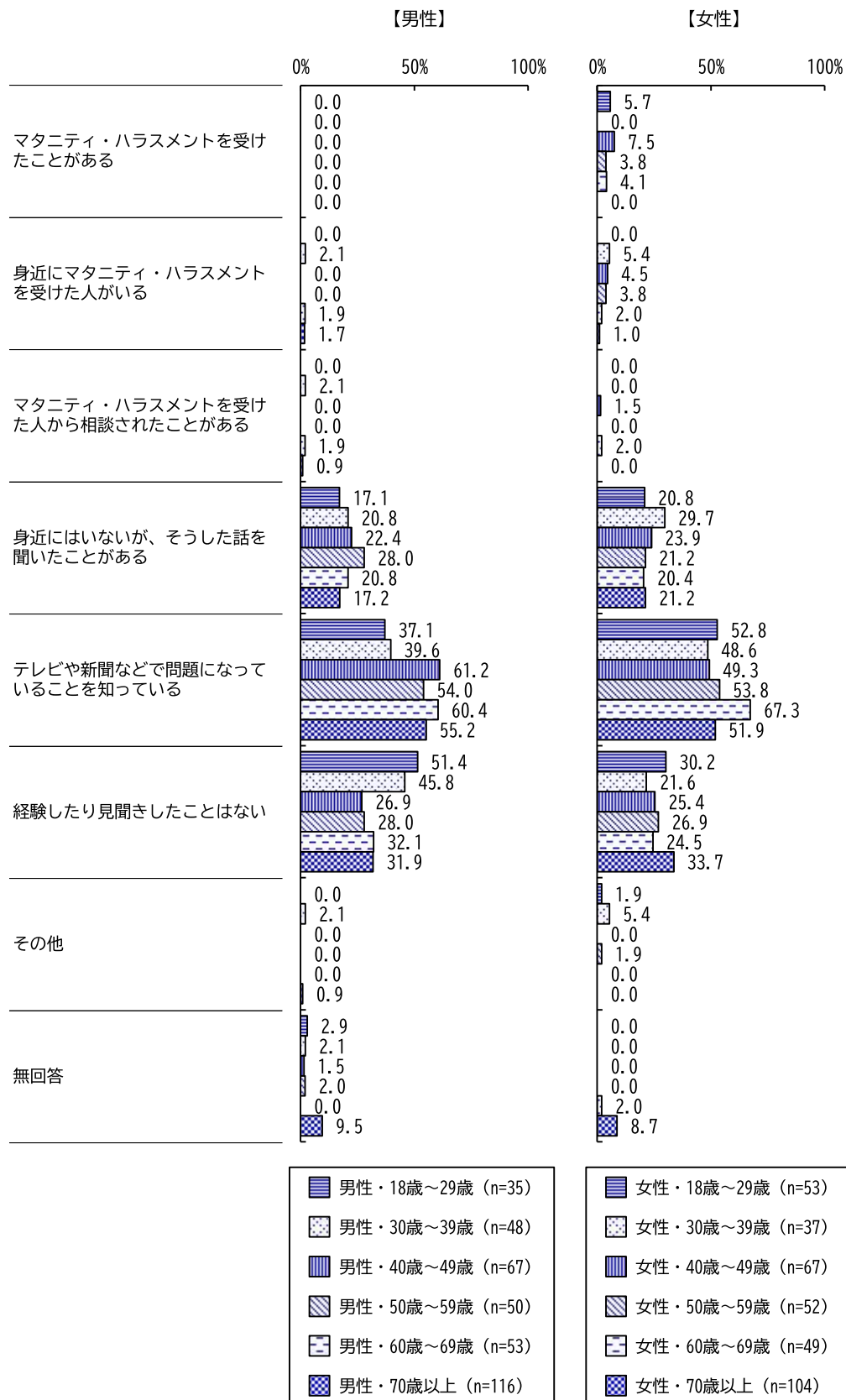
経年比較でみると、前回調査から大きな変化はありません。

【全体・性別】



3 パートナー間の暴力やセクシュアル・ハラスメントについて

【性・年代別】



【経年比較】

